



增補  
頭書

訓蒙圖彙

人物  
三冊目

四ノ七ノ五

13  
1782  
3



門 1 3  
1782  
巻 2



頭書 增補訓蒙圖彙卷之四



人物

人物の部... 農工商の... 士の... 儒の... 僧の... 婦人の...



○ 師ハ三つあり  
太政大臣... 左大臣... 右大臣... 大納言... 大進... 大退... 大保...

○ 士ハ三つあり  
儒... 僧... 農... 工... 商... 士... 儒の... 僧の... 農の... 工の... 商の... 士の...

○ 婦人ハ三つあり  
母... 妻... 女... 母の... 妻の... 女の... 母の... 妻の... 女の...

○女ハハコト嫁  
 女ハハコト嫁  
 女ハハコト嫁  
 女ハハコト嫁



○童ハ男十五  
 童ハ男十五  
 童ハ男十五  
 童ハ男十五



○孫ハ長老此  
 孫ハ長老此  
 孫ハ長老此  
 孫ハ長老此



○農ハ馬山  
 農ハ馬山  
 農ハ馬山  
 農ハ馬山



○商ハ行て販  
 商ハ行て販  
 商ハ行て販  
 商ハ行て販



○妻ハ樞  
 妻ハ樞  
 妻ハ樞  
 妻ハ樞



○兵ハ武具  
 兵ハ武具  
 兵ハ武具  
 兵ハ武具



○工ハ百工  
 工ハ百工  
 工ハ百工  
 工ハ百工



○醫ハ病と治  
 醫ハ病と治  
 醫ハ病と治  
 醫ハ病と治



○鍛ハ磨  
 鍛ハ磨  
 鍛ハ磨  
 鍛ハ磨



○呪の遷あり  
 行してこの  
 山つるふゆは  
 呪人といふは  
 朱の仙人一角  
 仙人多して  
 ○薩の菩薩  
 善いものく薩  
 いとくありし  
 わまぬく衆生  
 とくをくく  
 ○呪の女僧あり  
 七丘のあり佛  
 の四部れす子  
 へ尼姑と云



○佛の西方は  
 人の名く女来  
 りし佛の人は  
 しし人あり  
 ○佛の西方は  
 人の名く女来  
 りし佛の人は  
 しし人あり  
 ○佛の西方は  
 人の名く女来  
 りし佛の人は  
 しし人あり



○呪の祭り  
 詞をつくる者  
 多りしは  
 くのつとわ  
 く多し  
 ○呪の祭り  
 詞をつくる者  
 多りしは  
 くのつとわ  
 く多し



○僧の浮圖の教  
 にてふり  
 珠の門素の比  
 五の無とを  
 又上人和尚長  
 老と云り  
 ○巫の女の御  
 つるもの  
 神と云り  
 ひものあり  
 ○鬼の女  
 内骨の土に  
 血の水子  
 鬼の天小  
 の陰気  
 して依り  
 かなる鬼



○樂ハ八音ノ  
帝ノ時倫倫  
ノノノ樂  
と俗人ノ

○侏儒ハ  
短人ノ  
短人ノ

○巧者ハ  
老童アリ  
泥匠ノ



○娼婦ハ倡優  
ノノノノノ  
ノノノノノ  
ノノノノノ

○陶家ハ  
茶碗天目  
ノノノノノ

○牙婆ハ  
ノノノノノ  
ノノノノノ



○視ハ  
ノノノノノ  
ノノノノノ

○夫人ハ  
ノノノノノ  
ノノノノノ

○織女ハ  
ノノノノノ  
ノノノノノ



○筆工ハ  
ノノノノノ  
ノノノノノ

○機女ハ  
ノノノノノ  
ノノノノノ

○機女ハ  
ノノノノノ  
ノノノノノ



○取婦のわきか  
ひらりかゝる賈婆  
とていふ

○取婦ハ蠶とり  
ひらりかゝる女  
ありひらり取す  
きのひらりかゝる  
蠶の素ぬ木を  
とり掃きとるを  
取とすかひらり  
とていふ

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取



取婦



銀匠



○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取

○取婦ハ白蠶  
とていふ  
取す目貫刀  
のひらりかゝる  
後取す人の取



取婦



取婦



○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ



玉人



補



石工

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ

○玉人ハ玉と琢  
磨するものあり  
ゆらりいづかぬと  
玉のふゆらりい  
ゆらりと琢るとい  
ふ



書工



漆工



皮匠

○漁人ハ海守ニ  
ルハ死川と申す  
てひらへと久と  
いふなり

○漁夫ハ薪と  
るハあり又ハ  
賤と申す

○腰丈ハ膝丈  
いふ今ハ膝丈  
ハあり腰丈と  
ハハ解今  
その各とらてカ  
ハハ又腰丈  
の名とて天下  
ハハハハ



○舟子ハ今ハ  
船頭ハ海守  
ハ舟又ハ  
と申す

○獵師ハ弓鉄  
炮とあり鉄と

○腰丈ハ膝丈  
いふ今ハ膝丈  
ハあり腰丈と  
ハハ解今  
その各とらてカ  
ハハ又腰丈  
の名とて天下  
ハハハハ



○漁人ハ海守ニ  
ルハ死川と申す  
てひらへと久と  
いふなり

○醫者ハ目  
このハ目  
儉拙ハ目  
打掛ハ目  
倫語ハ目  
者ハ目

○釣吏ハ  
ふハハハ  
公望ハハ  
ハハハ



○醫者ハ目  
このハ目  
儉拙ハ目  
打掛ハ目  
倫語ハ目  
者ハ目

○背ハ  
とハハハ  
とハハハ  
とハハハ

○先  
とハハハ  
とハハハ  
とハハハ



○乞兒ハ乞丐人  
クハ又乞食トモ  
ハメトモイハ  
非人トモイハ  
非人ハ乞食トモ  
非人ハ乞食トモ

蘆僧

蘆僧ハ梵論トモ  
ハ梵論ヲ漢字  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ



蘆僧



駕輿丁



○牧童ハ野ノ  
牛ニ牧スル童  
カハ牧童トモ  
香花村ハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ

相撲使

相撲乃見宿稱  
振速トモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ



相撲使



浪人



歌工

歌工ハ日本に  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ

櫛師

櫛師ハ伊井  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ

鏡造

鏡造ハ伊井  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ



櫛師



鏡造



烏帽子折

烏帽子折ハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ

傀儡師

傀儡師ハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ

伯樂

伯樂ハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ  
トモトモイハ



傀儡師



伯樂



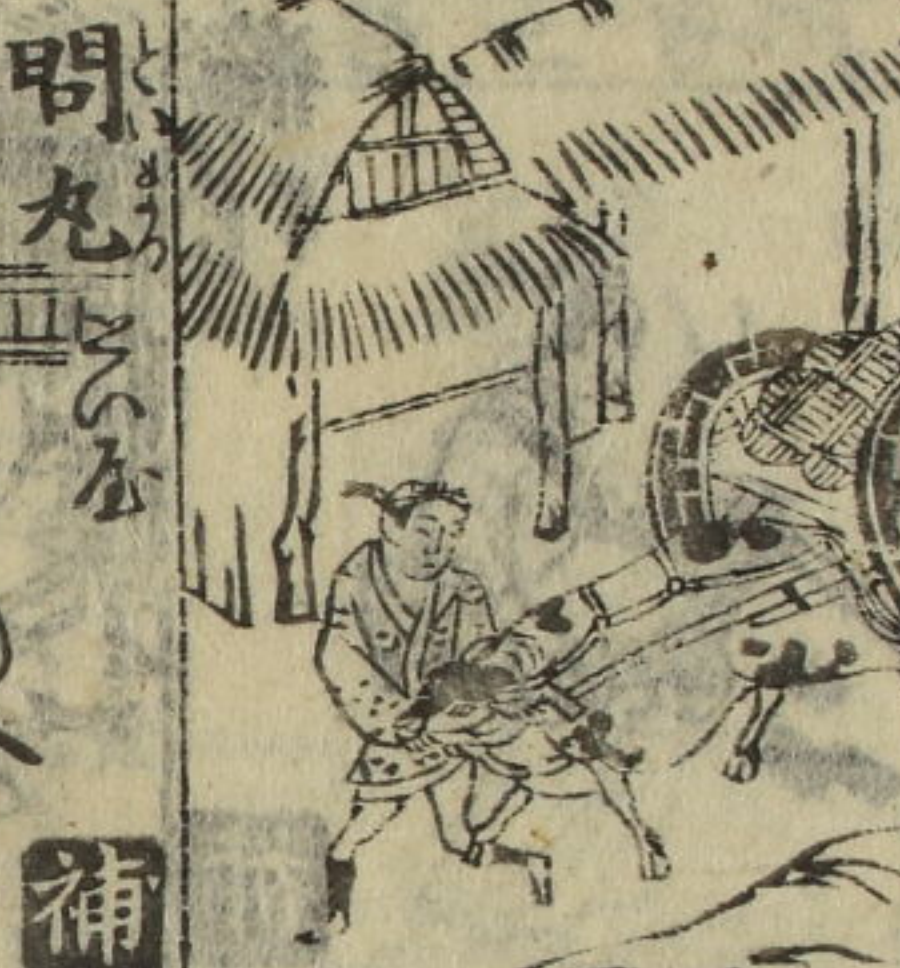


馬借の馬又を  
大津及び今  
の海州に今  
の借と云ふ

車借の馬又を  
大津及び今  
の海州に今  
の借と云ふ

明丸の今  
の海州に今  
の借と云ふ

馬借の馬又を  
大津及び今  
の海州に今  
の借と云ふ



大系黒木が  
系山太郎の女  
おと愛の年推  
盛の妻阿波の  
侍系新平の  
おと愛の年推  
このおと愛の  
土器師

土器師  
又山畑技の  
おと愛の年推  
盛の妻阿波の  
侍系新平の  
おと愛の年推  
このおと愛の  
土器師

針磨  
おと愛の年推  
盛の妻阿波の  
侍系新平の  
おと愛の年推  
このおと愛の  
土器師

大系黒木が  
系山太郎の女  
おと愛の年推  
盛の妻阿波の  
侍系新平の  
おと愛の年推  
このおと愛の  
土器師



○敵の阿蘭陀

○中因の漢

○暹羅

○蒙古

○朝鮮

敵の阿蘭陀



○東夷の蝦夷

○朝鮮

○蒙古

○朝鮮

○蒙古

東夷の蝦夷



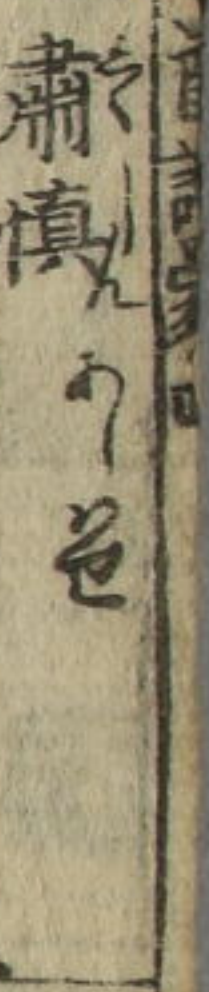
○肅慎の女直と

○琉球の中山国

○天竺のヤマト

○東番の海人の

○長脚の海人の



○呂宋の海人の



○安南の交趾



○東番の海人の



○長脚の海人の



○長脚の海人の

○崑崙の西南の  
漸とほそつる  
のくまぐら  
く黒味のもし  
世に久しきもの  
崑崙坊とて  
○百城の安南  
にらじふに  
わりとて  
まの北人と  
食りて



崑崙 さんさん



百城

○小人の  
ひりり  
あま



○長脚の海人の  
りりありあ  
あまぐら  
くろ布衣と  
はく一丈二尺八寸  
又臂のくも  
無臂国といふ  
臂ひとめ  
わり一臂と  
○長脚の海人の  
れあり  
あまぐら



長脚



長脚



長脚



鬢 鬢の鬢 鬢の鬢  
鬢の鬢 鬢の鬢  
鬢の鬢 鬢の鬢

鬢 鬢の鬢 鬢の鬢  
鬢の鬢 鬢の鬢  
鬢の鬢 鬢の鬢

毛 毛の毛 毛の毛  
毛の毛 毛の毛  
毛の毛 毛の毛

鬢

鬢

毛



鬢 鬢の鬢 鬢の鬢  
鬢の鬢 鬢の鬢  
鬢の鬢 鬢の鬢

鬢 鬢の鬢 鬢の鬢  
鬢の鬢 鬢の鬢  
鬢の鬢 鬢の鬢

筋 筋の筋 筋の筋  
筋の筋 筋の筋  
筋の筋 筋の筋

鬢

鬢

筋



顔 顔の顔 顔の顔  
顔の顔 顔の顔  
顔の顔 顔の顔

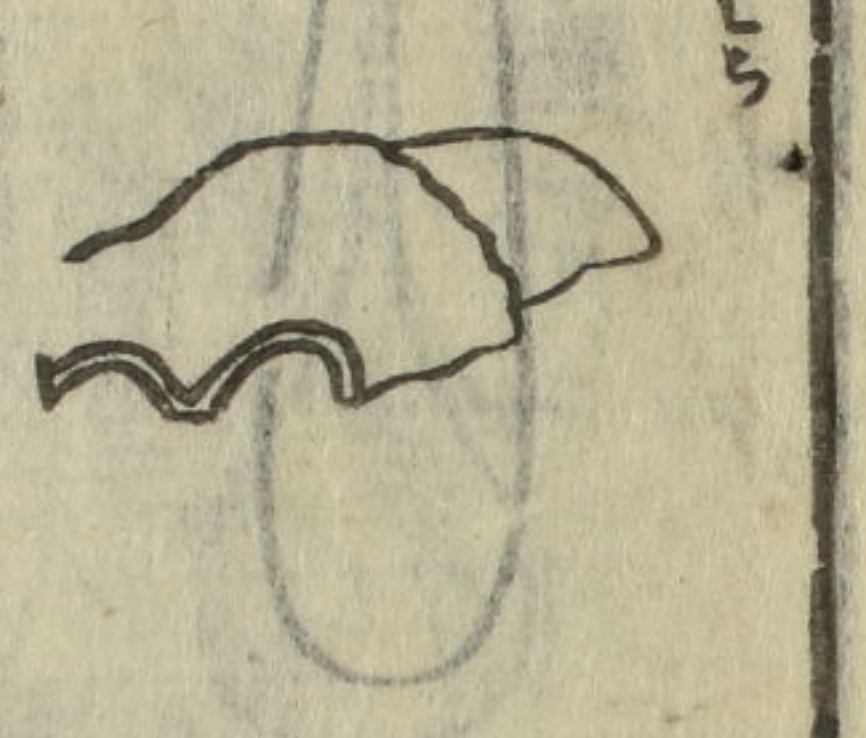
手 手の手 手の手  
手の手 手の手  
手の手 手の手

足 足の足 足の足  
足の足 足の足  
足の足 足の足

顔

手

足



骨 骨の骨 骨の骨  
骨の骨 骨の骨  
骨の骨 骨の骨

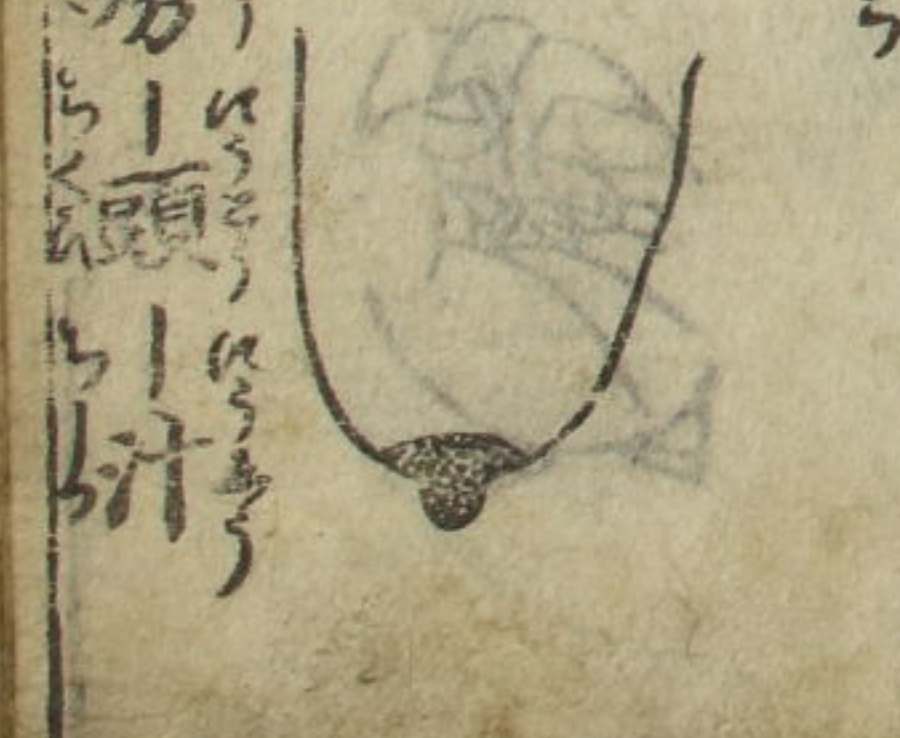
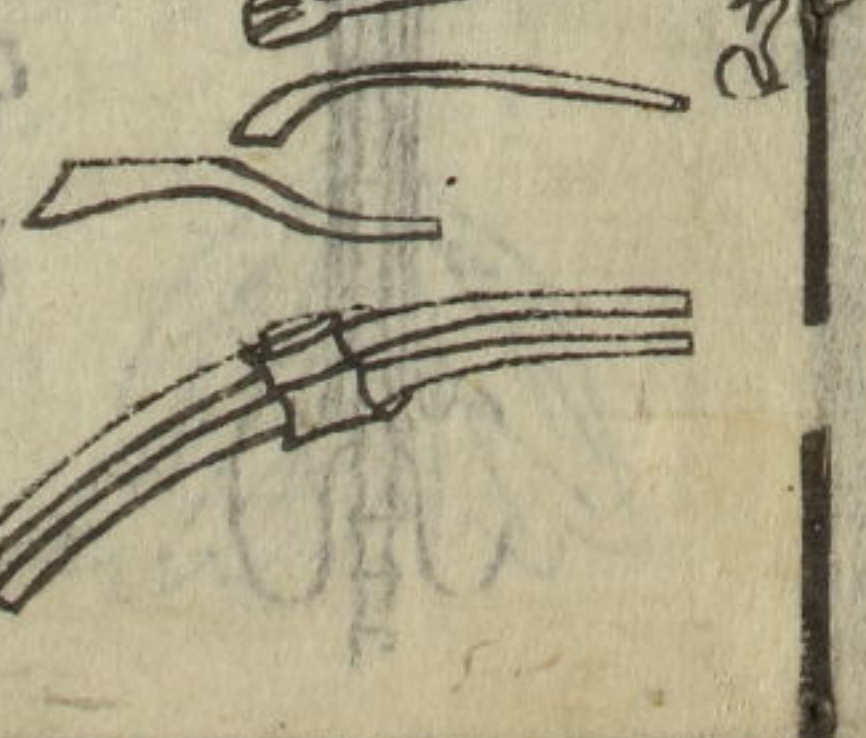
乳 乳の乳 乳の乳  
乳の乳 乳の乳  
乳の乳 乳の乳

乳 乳の乳 乳の乳  
乳の乳 乳の乳  
乳の乳 乳の乳

骨

乳

乳



大指だいしゆのひひめめのの指ゆび同  
 食くの指ゆびひひととゆゆめめ  
 中指ちゆうしゆのひひめめのの指ゆび  
 無むの指ゆびひひととゆゆめめ  
 小指せうしゆのひひめめのの指ゆび  
 季きの指ゆびひひととゆゆめめ  
 心こころの五ご臓ざうののららん  
 胸むねののららん  
 脾いののららん  
 肝かんののららん  
 肺はいののららん  
 腎じんののららん

指ゆび

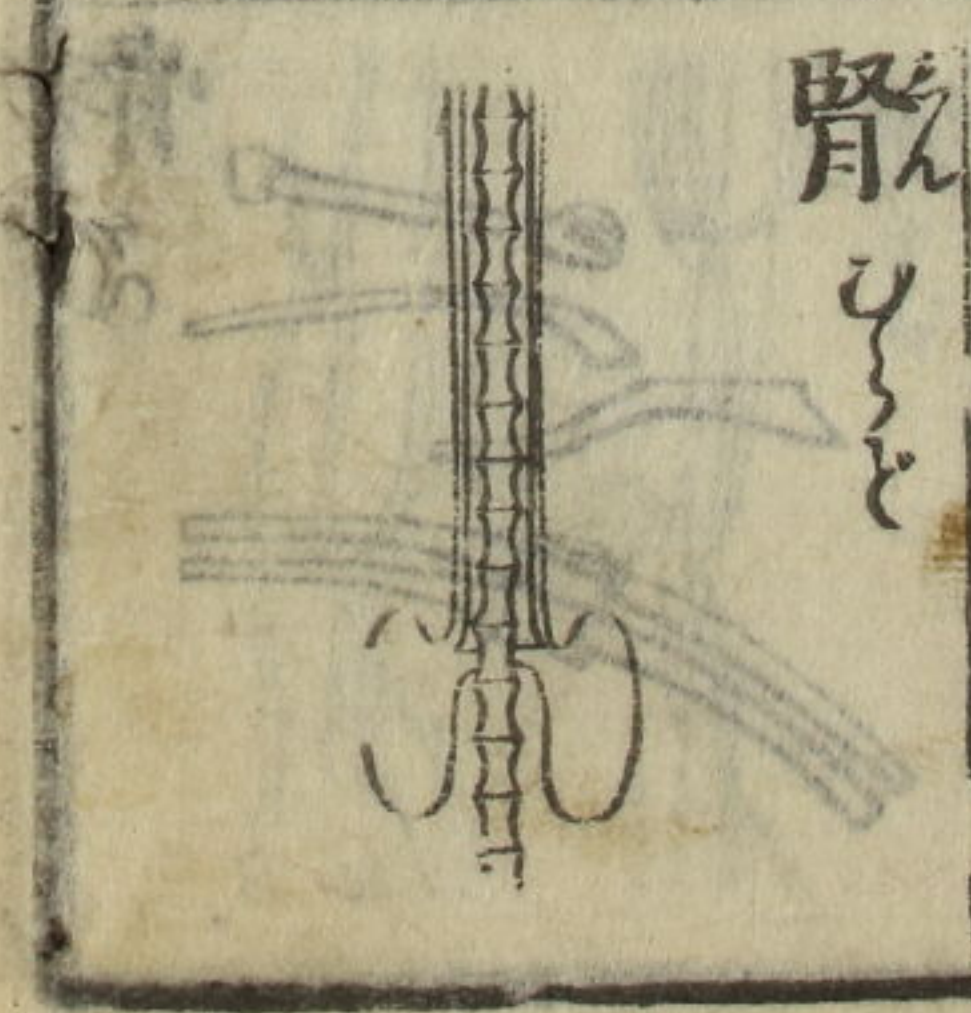


腎じん

腎じんののららん  
 腎じんののららん  
 腎じんののららん

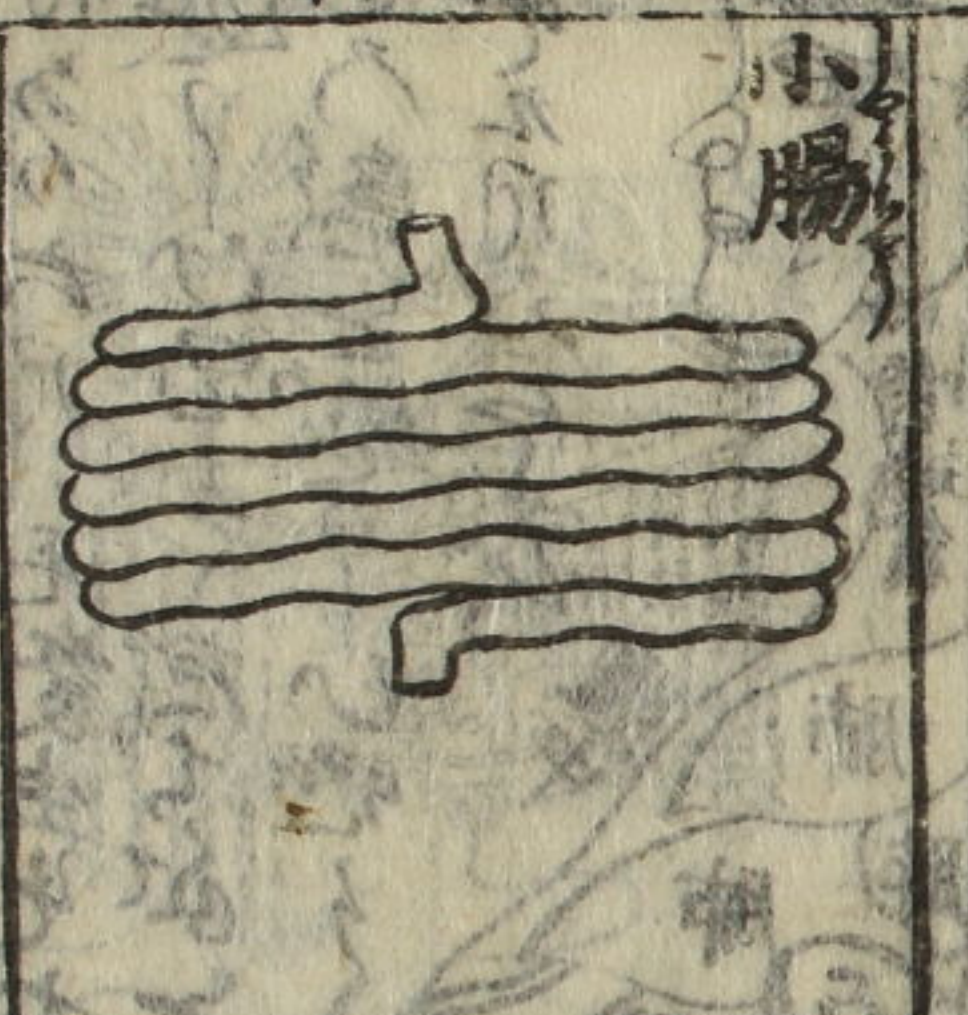
腎じんののららん  
 腎じんののららん  
 腎じんののららん

腎じんののららん  
 腎じんののららん  
 腎じんののららん



肝かんののららん  
 肝かんののららん  
 肝かんののららん

肝かん

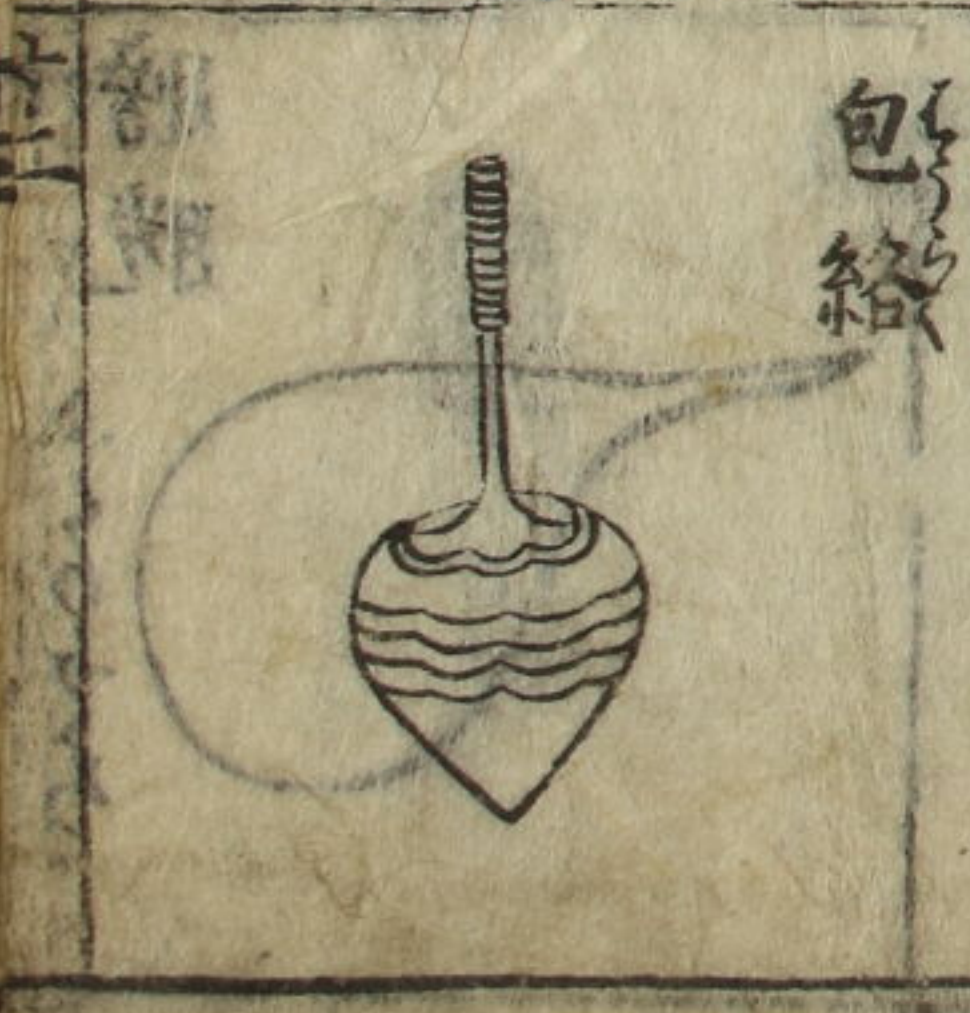


膽たん

膽たんののららん  
 膽たんののららん  
 膽たんののららん

膽たんののららん  
 膽たんののららん  
 膽たんののららん

膽たんののららん  
 膽たんののららん  
 膽たんののららん





○巾の頭巾  
その製法は、  
おのろ中を  
圓くと帽と云  
ふことなり

○袋、天子の所  
初葉一子法  
山三子花典四子火  
五子虎以上花  
六子藻七子松  
八子輔九子蔽  
と裳は、と云ふ  
九章の所衣と云  
ふことなり



縷いとのり巾の

○縷の両方耳を  
かひふとの冠の  
ひがかり領の下  
に、と云ふことなり

○僕八尉の武帝  
乃つらりと、  
唐人の、  
幅巾と云ふことなり

○帽の頭衣を  
に、上衣あり、  
友に、  
と云ふことなり



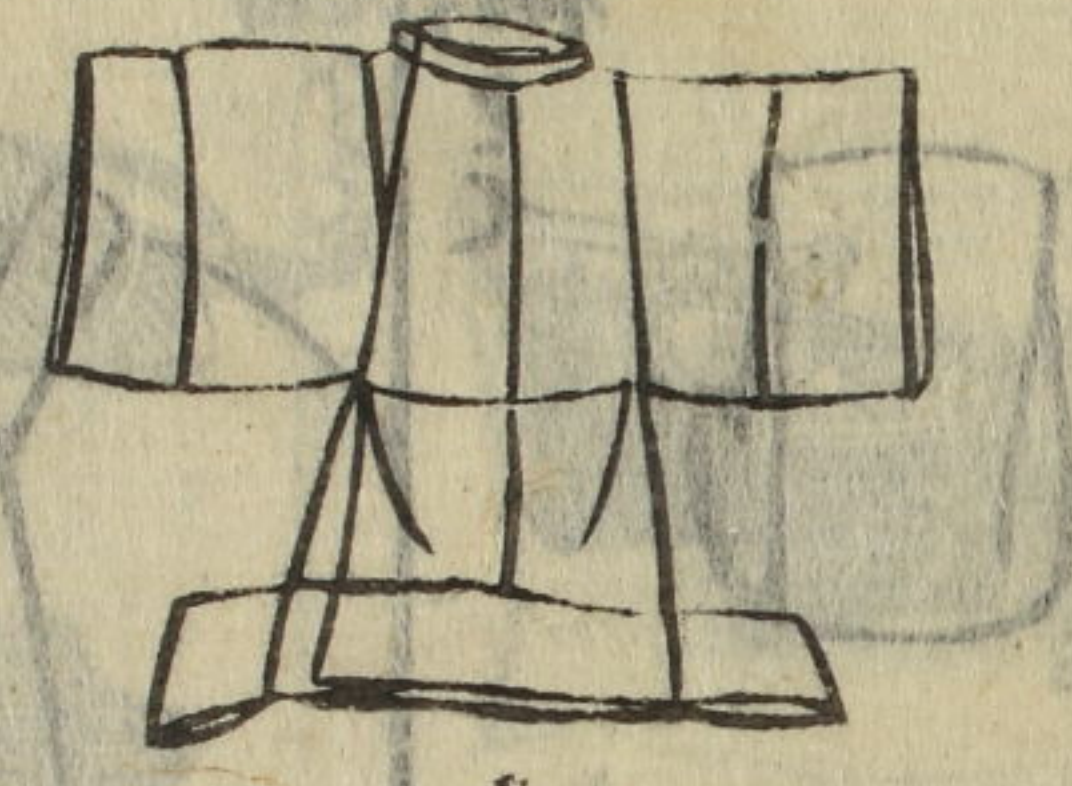
袍ほろのり綉の綵り

○袍、今朝廷へ出  
仕の、  
と袍、  
と云ふことなり

珮ひのり官の人の腰の

○珮、官人の腰  
に、  
お、  
の長、  
一寸、  
瓊珠、

袍ほろのり綉の綵り



珮ひのり官の人の腰の



裳ほろのり綉の綵り

○裳、  
と裳、  
と云ふことなり

袴はかまのり綉の綵り

○袴、  
と袴、  
と云ふことなり

裳ほろのり綉の綵り



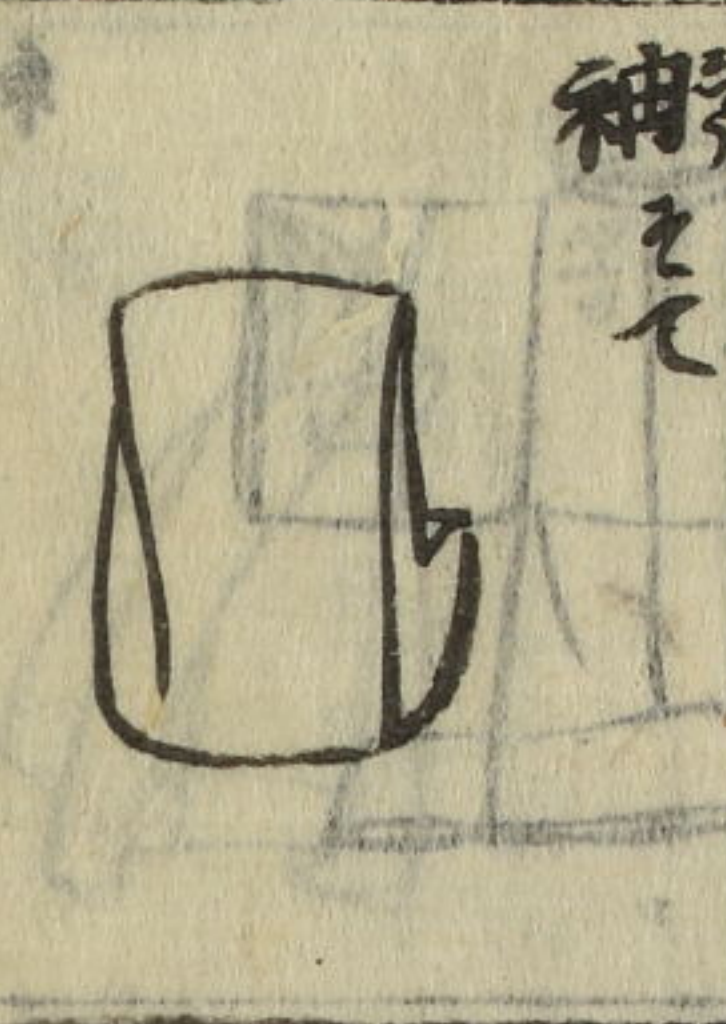
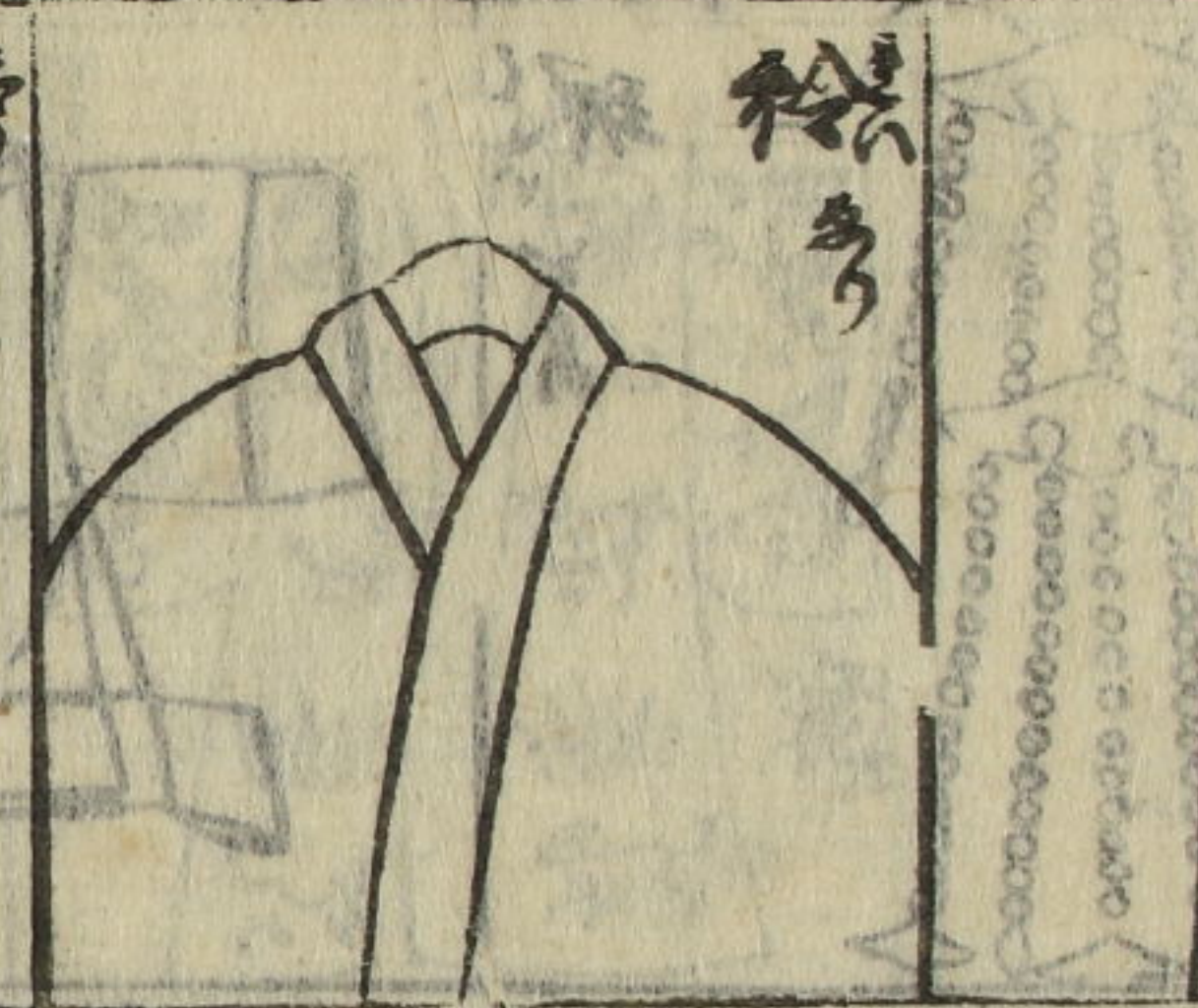
袴はかまのり綉の綵り



襦袢  
 ○襦袢の紐は  
 白くする  
 へらこし外襟の  
 へらこし

衿  
 ○衿は  
 衿の紐は  
 綱領要領  
 と領の衣の  
 へらこし

袖  
 ○袖の紐は  
 長袖は  
 紐は

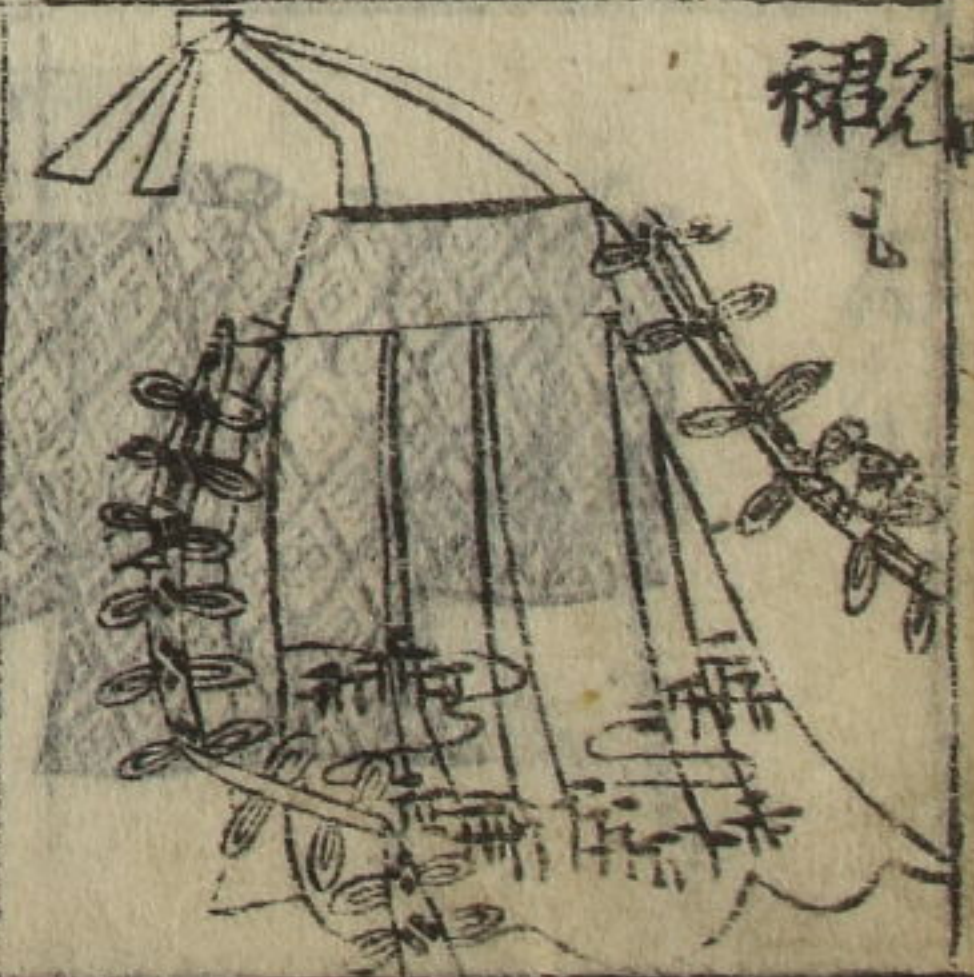


襦袢  
 ○襦袢の紐は  
 白くする

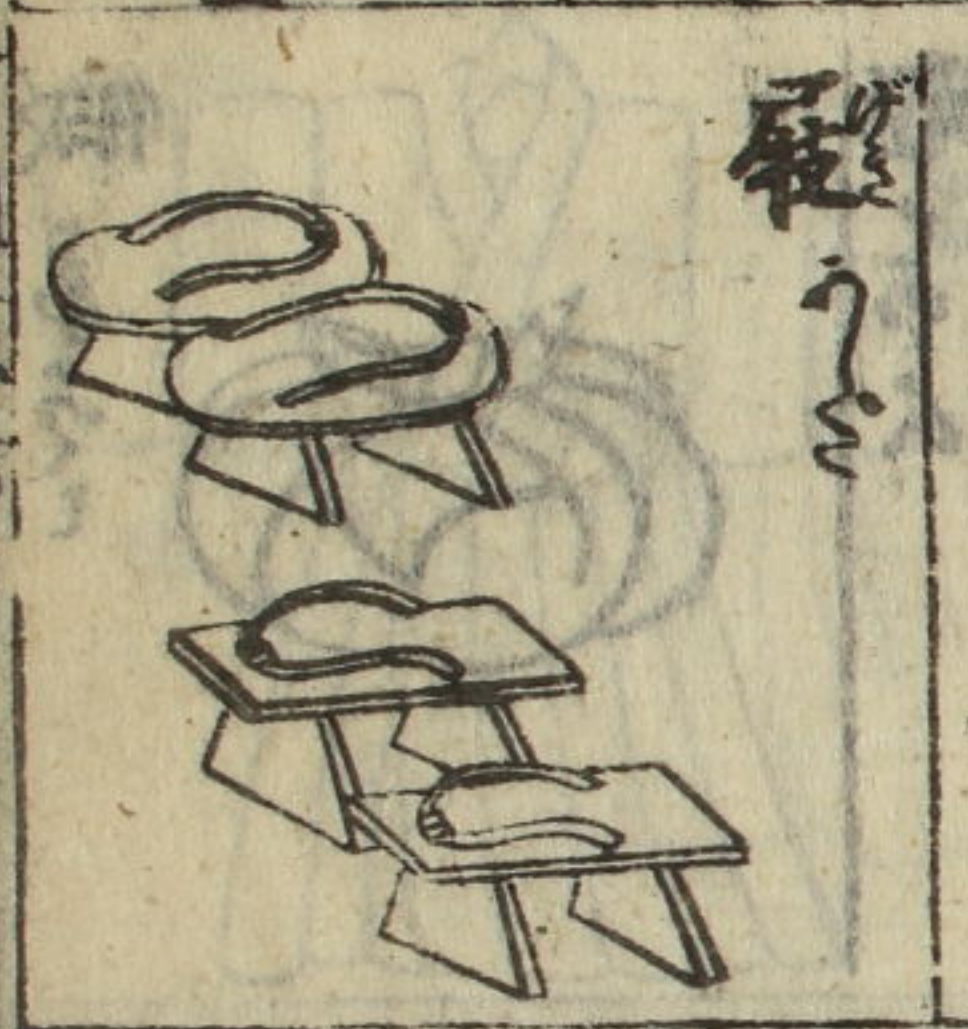
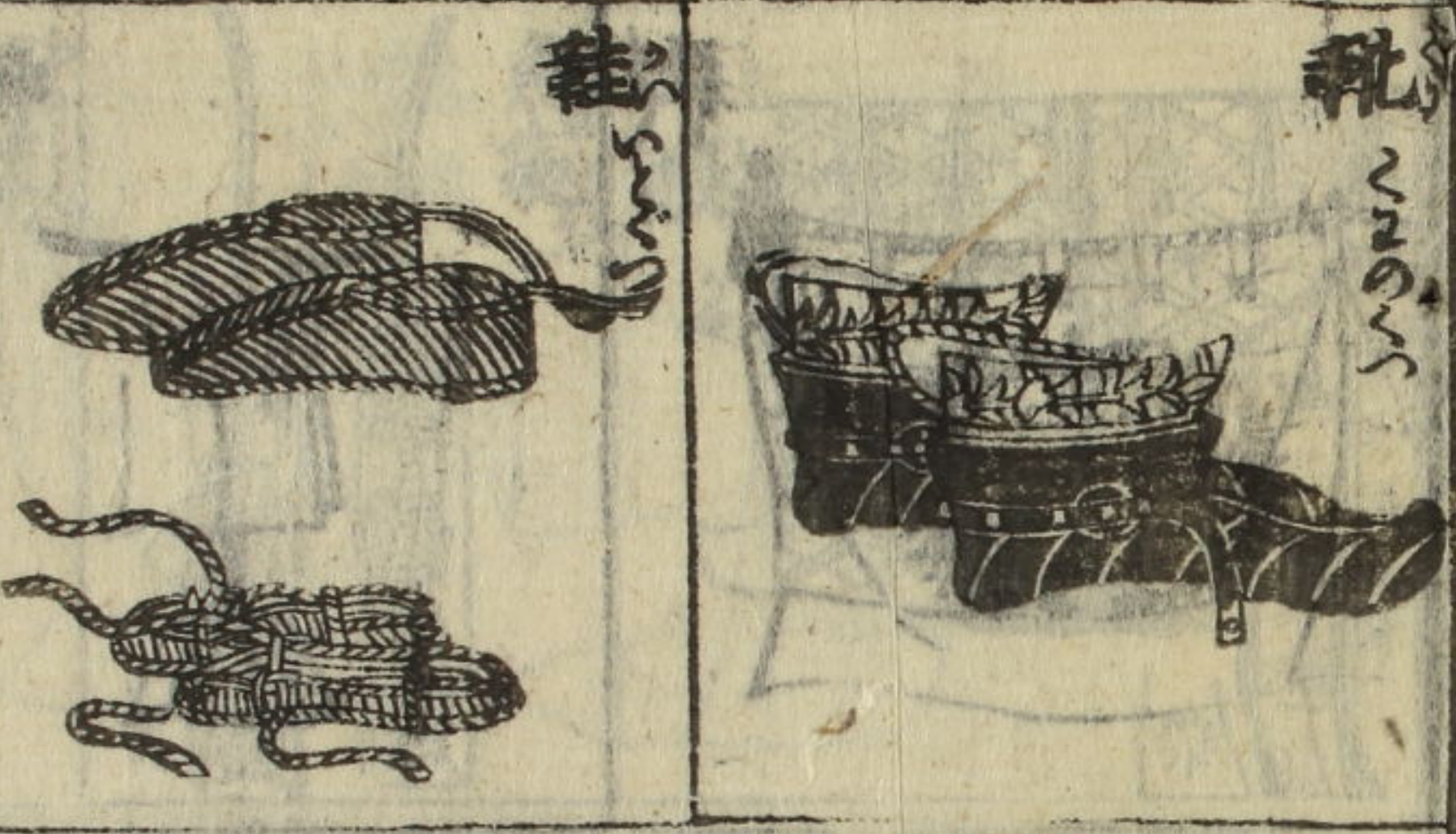
帯  
 ○帯の紐は  
 白くする

袴  
 ○袴の紐は  
 白くする

襦袢  
 ○襦袢の紐は  
 白くする



靴  
 ○靴の紐は  
 白くする



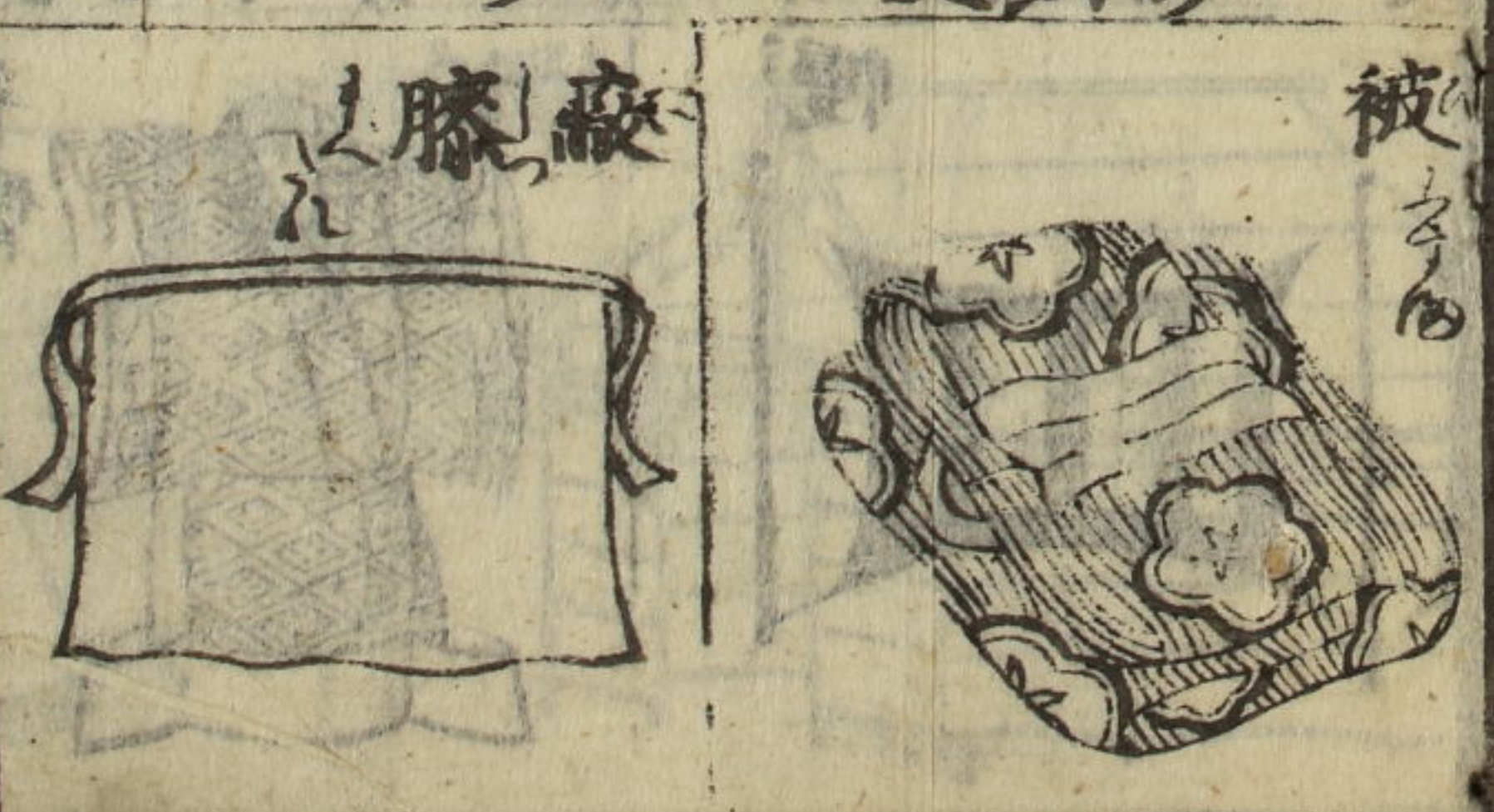
襦袢  
 ○襦袢の紐は  
 白くする

帯  
 ○帯の紐は  
 白くする

袴  
 ○袴の紐は  
 白くする

襦袢  
 ○襦袢の紐は  
 白くする

襦袢  
 ○襦袢の紐は  
 白くする





○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同

帷  
てのふ

○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同

帷  
てのふ

○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同



○覆 草と扉  
の麻と篠とつら  
皮と覆とつらと  
とと木につらと  
半臂

覆  
てのふ

○覆 草と扉  
の麻と篠とつら  
皮と覆とつらと  
とと木につらと  
半臂

覆  
てのふ

○覆 草と扉  
の麻と篠とつら  
皮と覆とつらと  
とと木につらと  
半臂



○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同

帷  
てのふ

○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同

帷  
てのふ

○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同



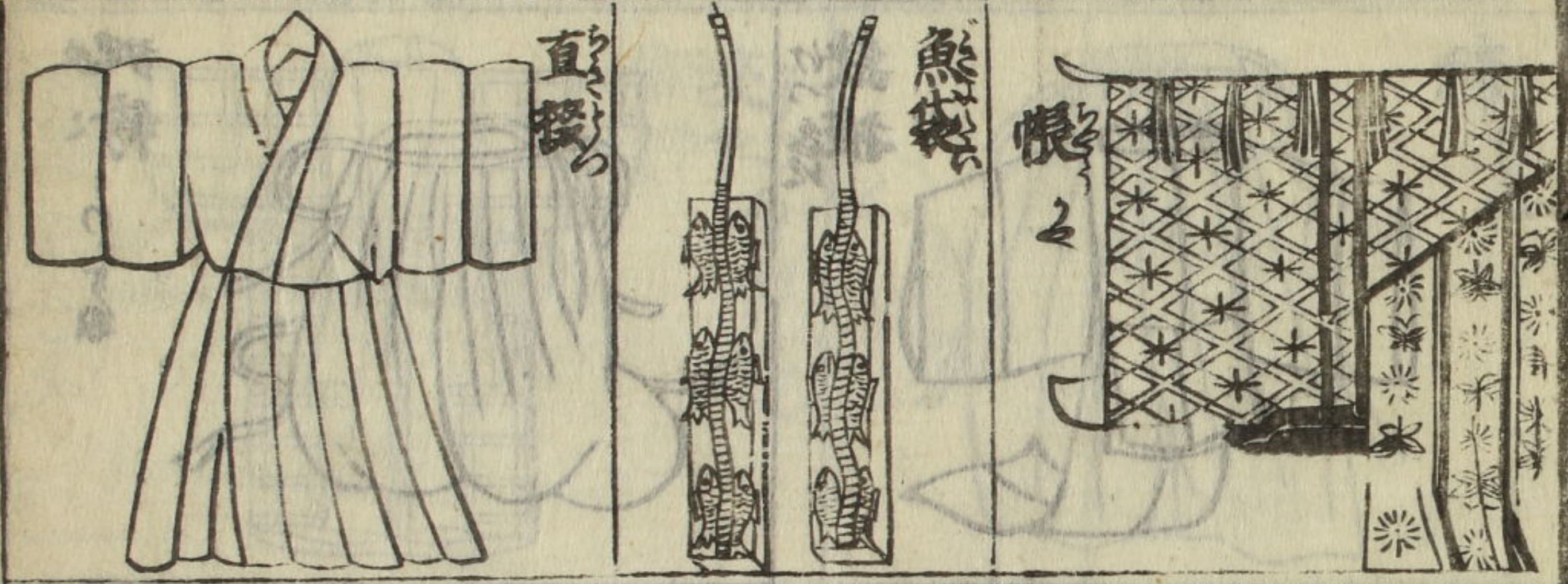
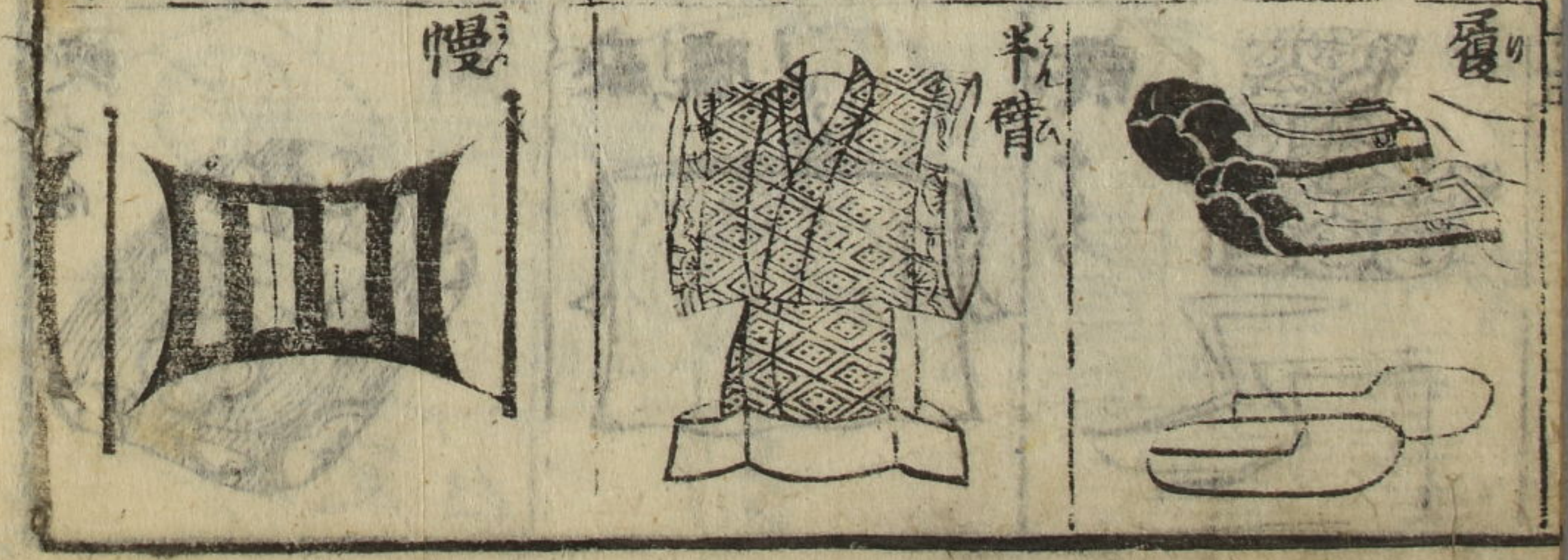
○覆 草と扉  
の麻と篠とつら  
皮と覆とつらと  
とと木につらと  
半臂

覆  
てのふ

○覆 草と扉  
の麻と篠とつら  
皮と覆とつらと  
とと木につらと  
半臂

覆  
てのふ

○覆 草と扉  
の麻と篠とつら  
皮と覆とつらと  
とと木につらと  
半臂



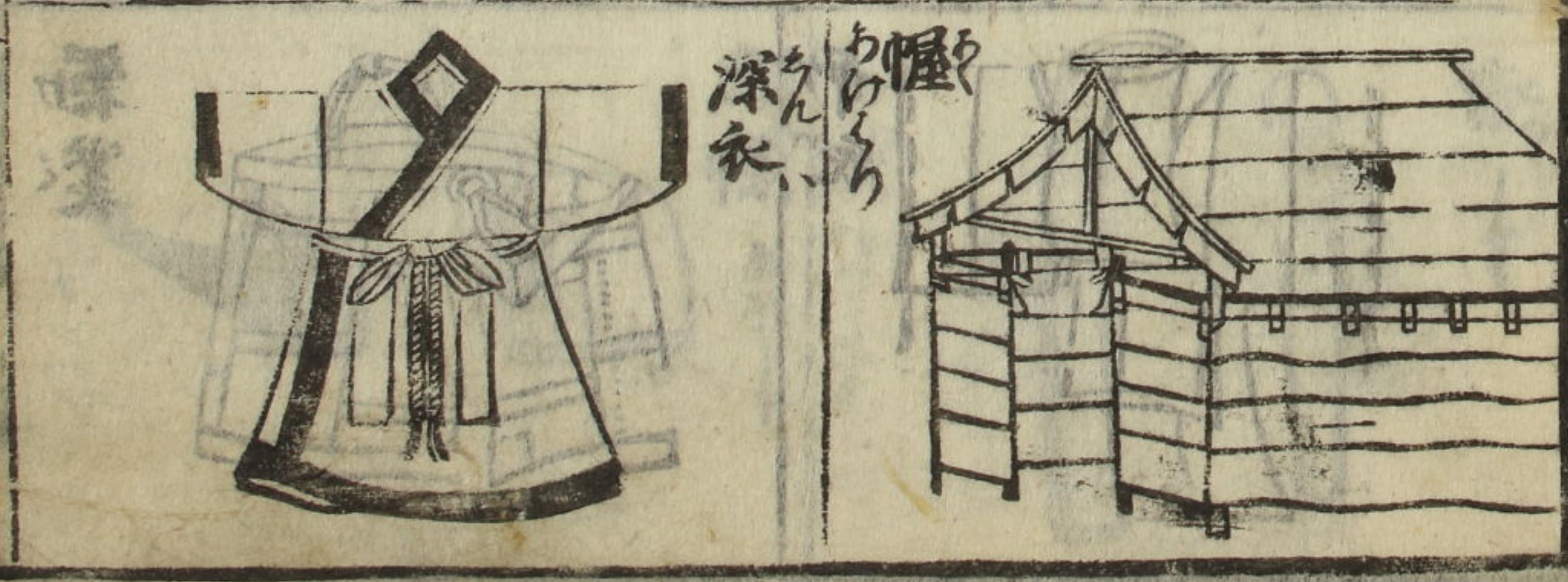
○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同

帷  
てのふ

○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同

帷  
てのふ

○帷 紅線はく  
織と抹とつらと  
つらり糸とつらと  
襦衣包紙並同



奴袴 (ぬはかま)

○奴袴へいし難  
のこし細ありせん  
中れく女中  
よりこし細あり  
女のこしをえわつ  
いとじりん

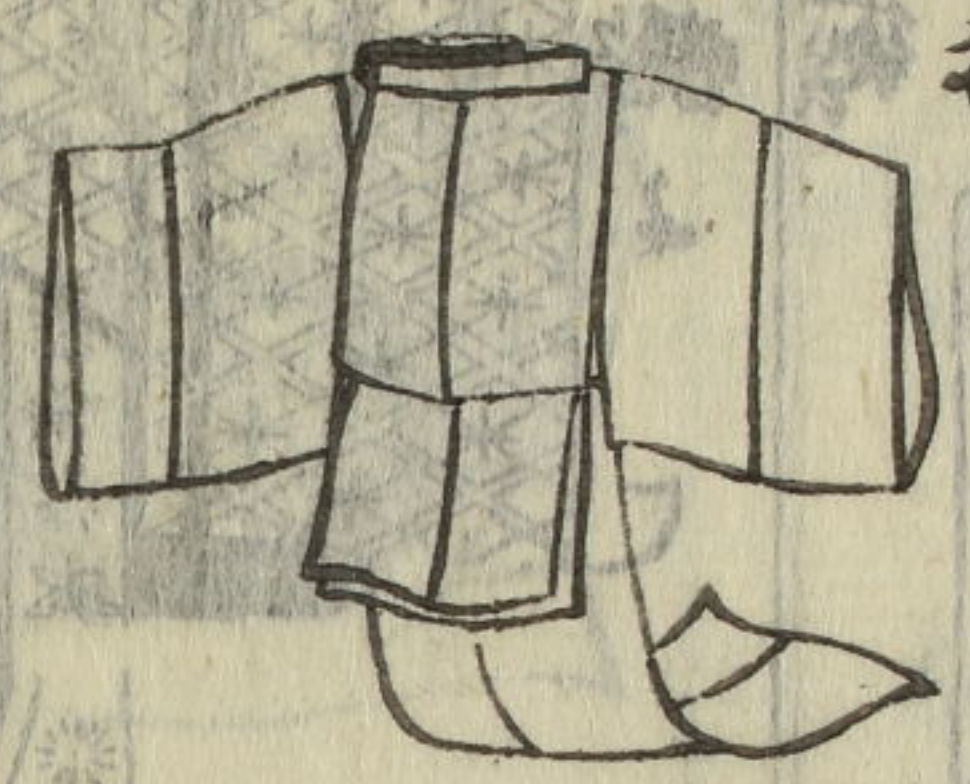
缺袴 (けつはかま)

○天竺のちきき  
入能衣裳も  
缺袴をこる  
とたかひん

奴袴 (ぬはかま)



缺袴 (けつはかま)



袷裳 (あはら)

○袷裳は七  
條五條  
衣より大  
九條より二十五  
条よりなる  
あり

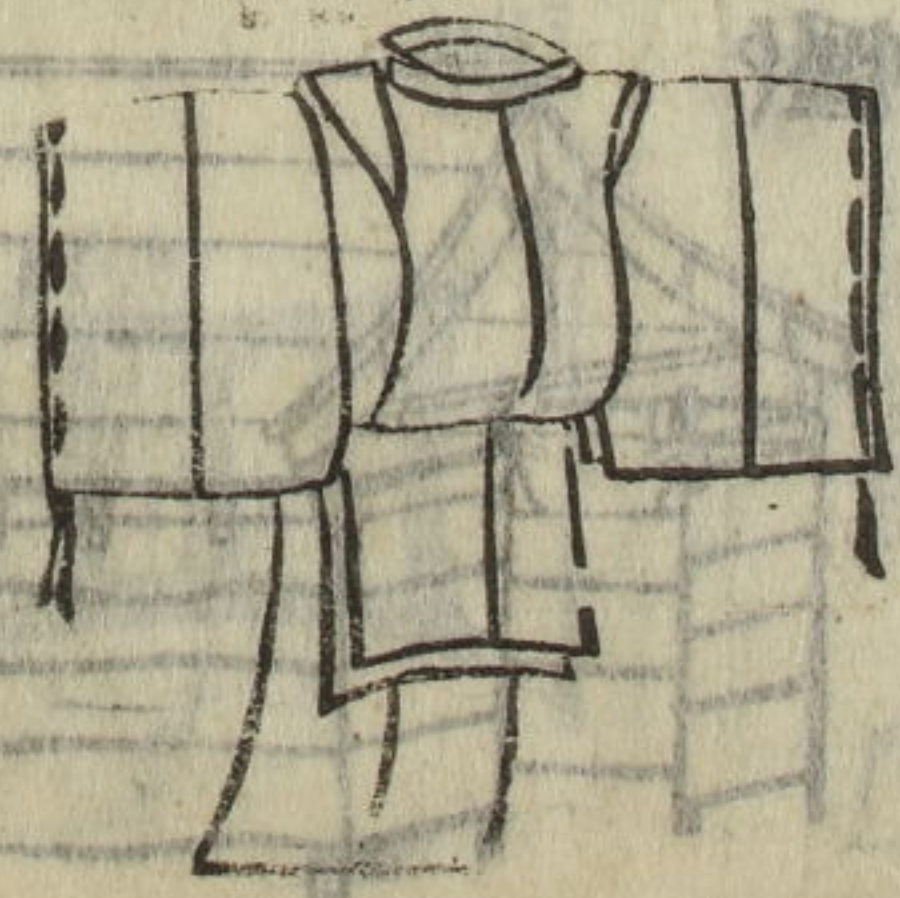
布衣 (ぬい)

○布衣は  
あはらと  
張より  
ぬい  
あり

新裳 (あらたはら)



柳衣 (やなぎぬい)



袴 (はかま)

○袴は股  
又丸は袴  
積り  
とて袴と  
云

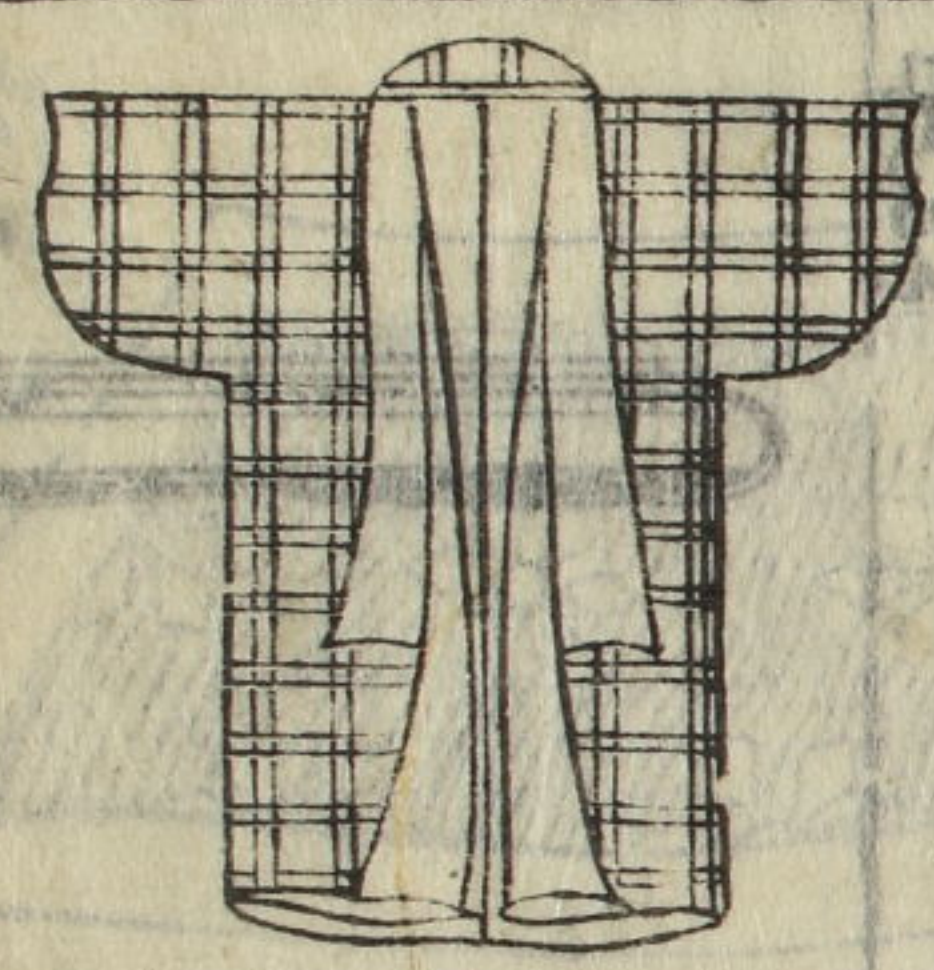
夾衣 (くわい)

○夾衣は  
助  
一  
表より裏  
表より裏

袴 (はかま)



夾衣 (くわい)



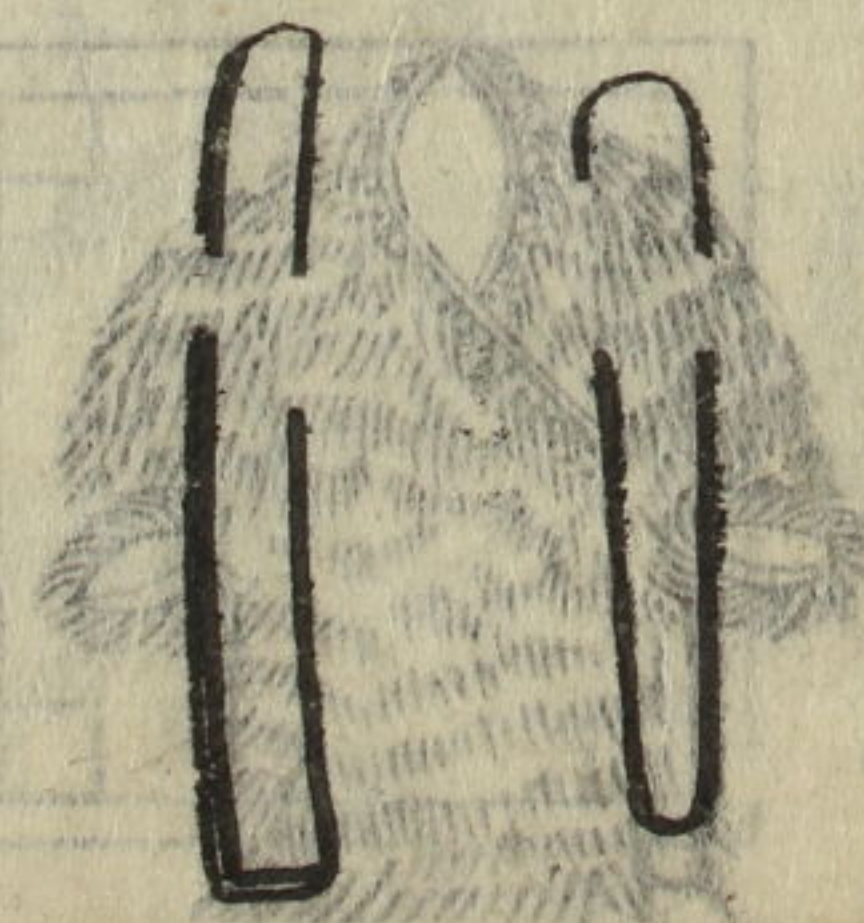
袴 (はかま)

○袴は手板  
子玉  
新太夫  
作士  
官人の  
鳥帽

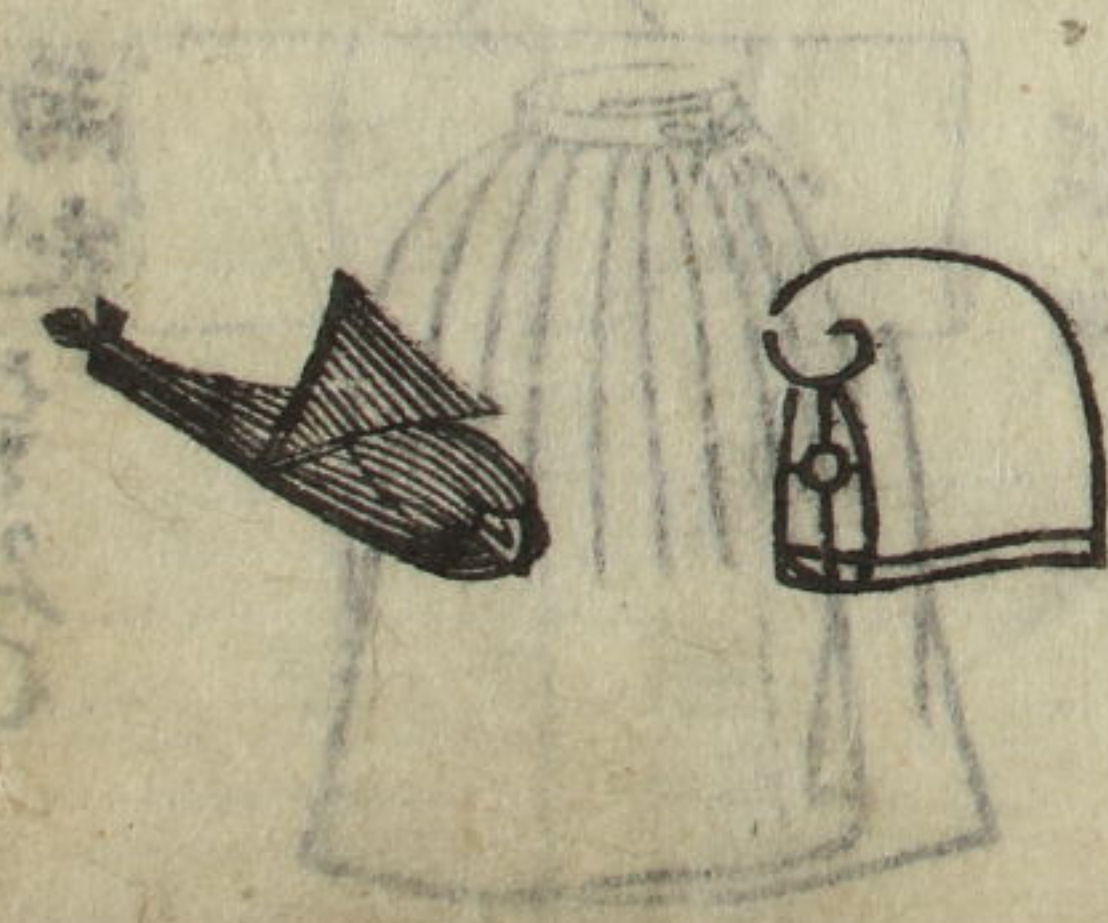
鳥帽 (とりぼうし)

○鳥帽は紙  
つくり  
あり  
紙の  
五條  
美を  
束の  
紙の

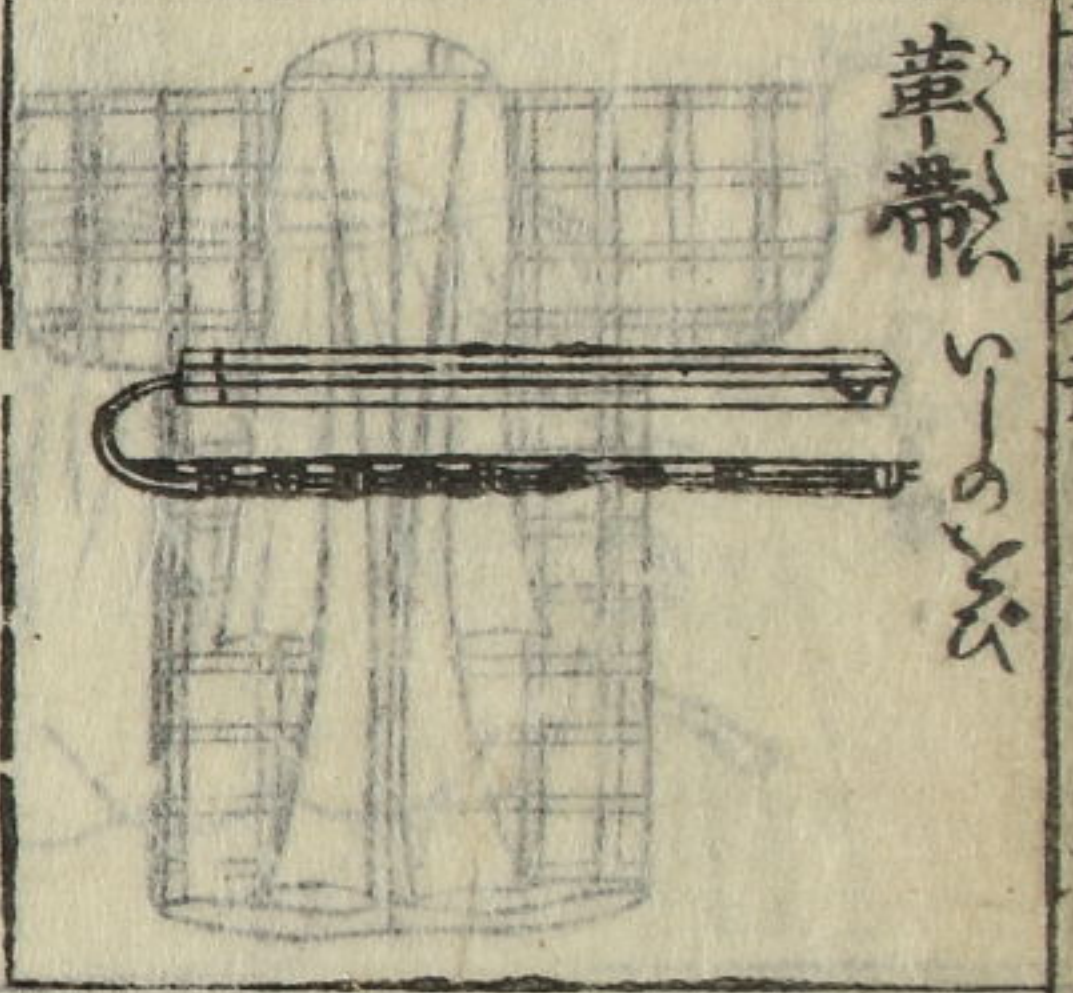
袴 (はかま)



鳥帽 (とりぼうし)



車帯  
○草帯のよきもの  
は末のよきもの  
金草玉草  
角帯あり

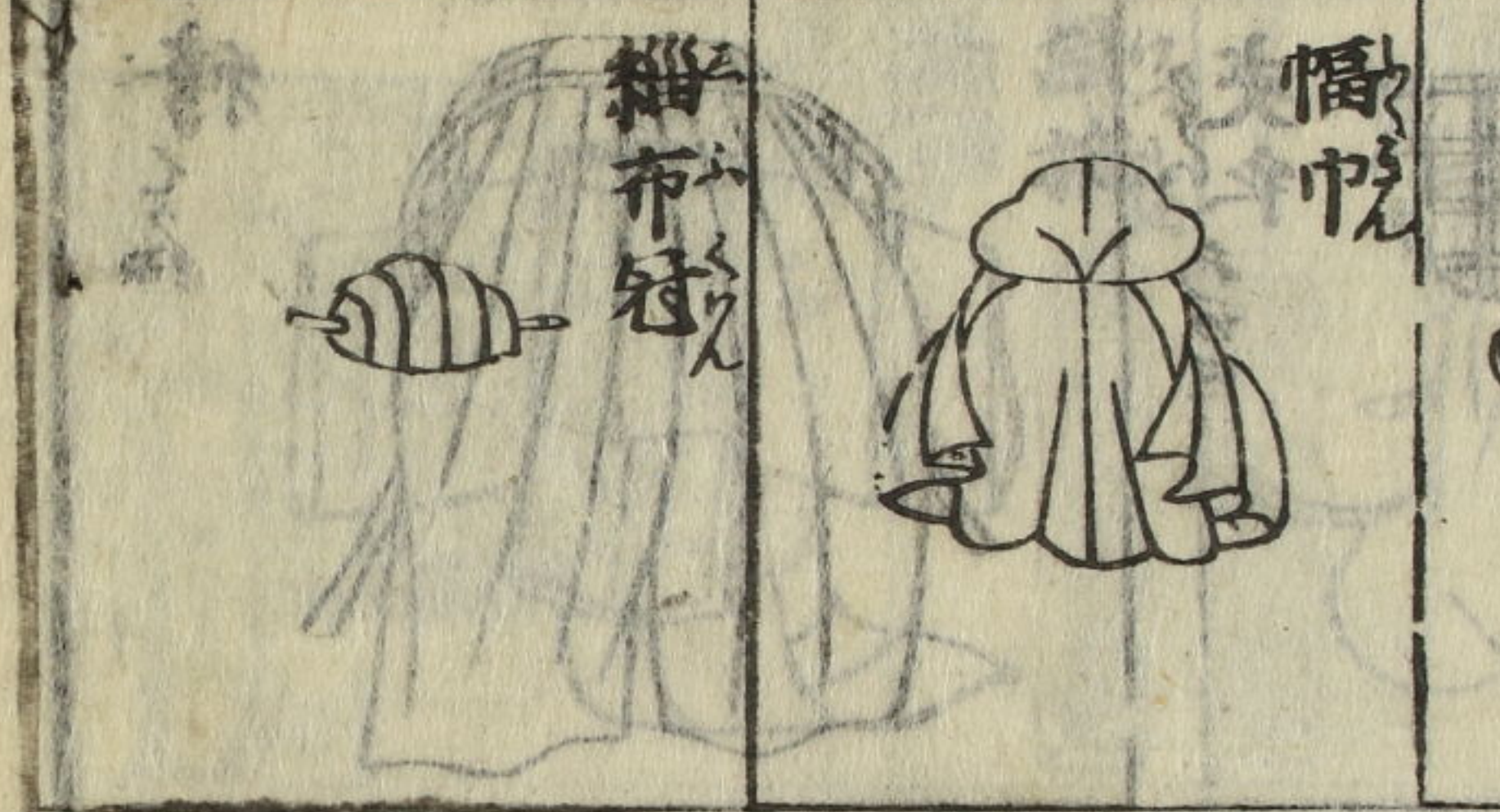


雨衣  
○雨衣のよきもの  
はあり襦袢も  
紙かきつら  
油衣より毛  
織りたかき  
色衣よりい  
圖の異れ色衣  
あり

毛裘  
○毛裘のよきもの  
は波はきつ  
子粒あり異  
物の人れと  
あり矢形に  
上人れと



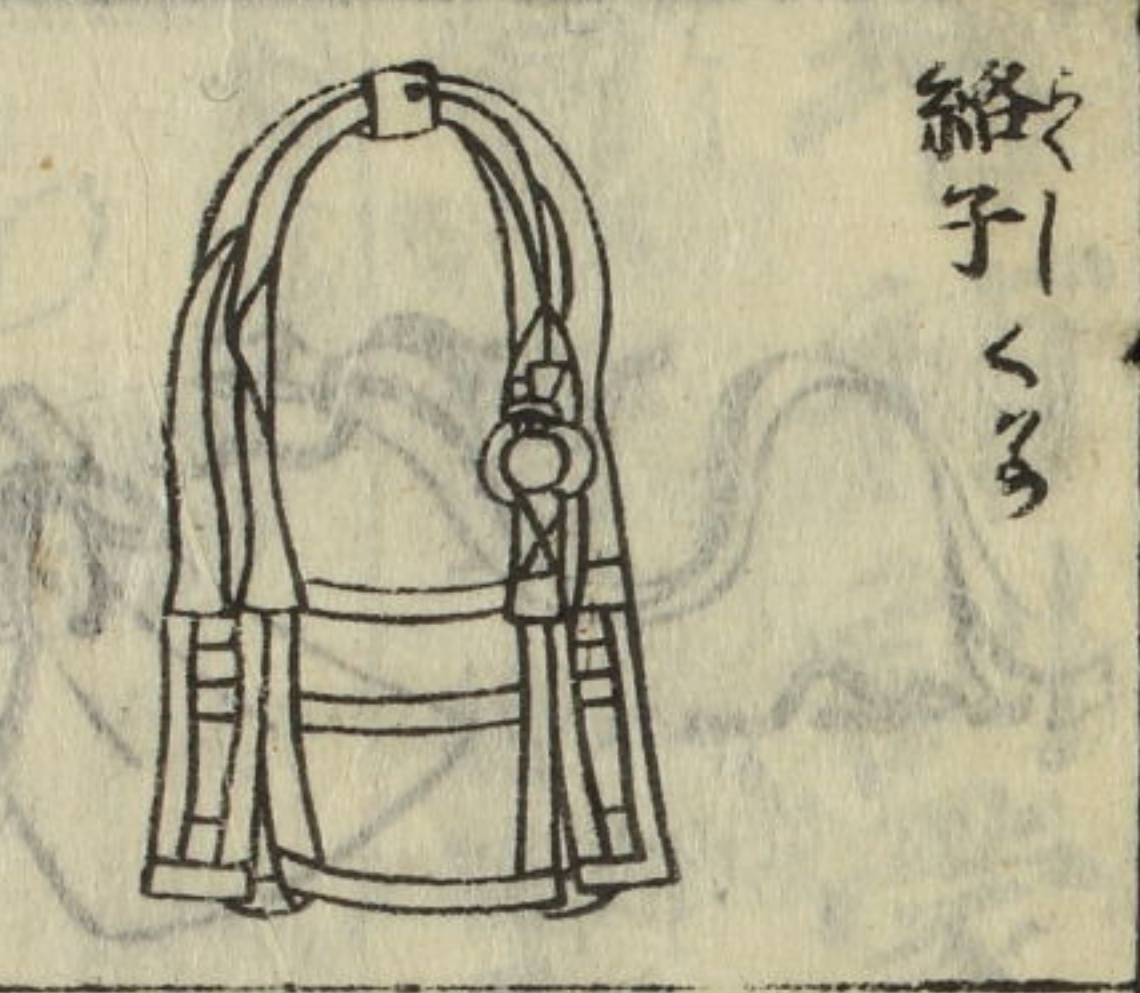
幅巾  
幅巾の白は  
ぬいつくま深  
紅とて緋布  
冠上とついで  
あり唐人の家  
とあり  
○緋布冠はく  
たぬはく



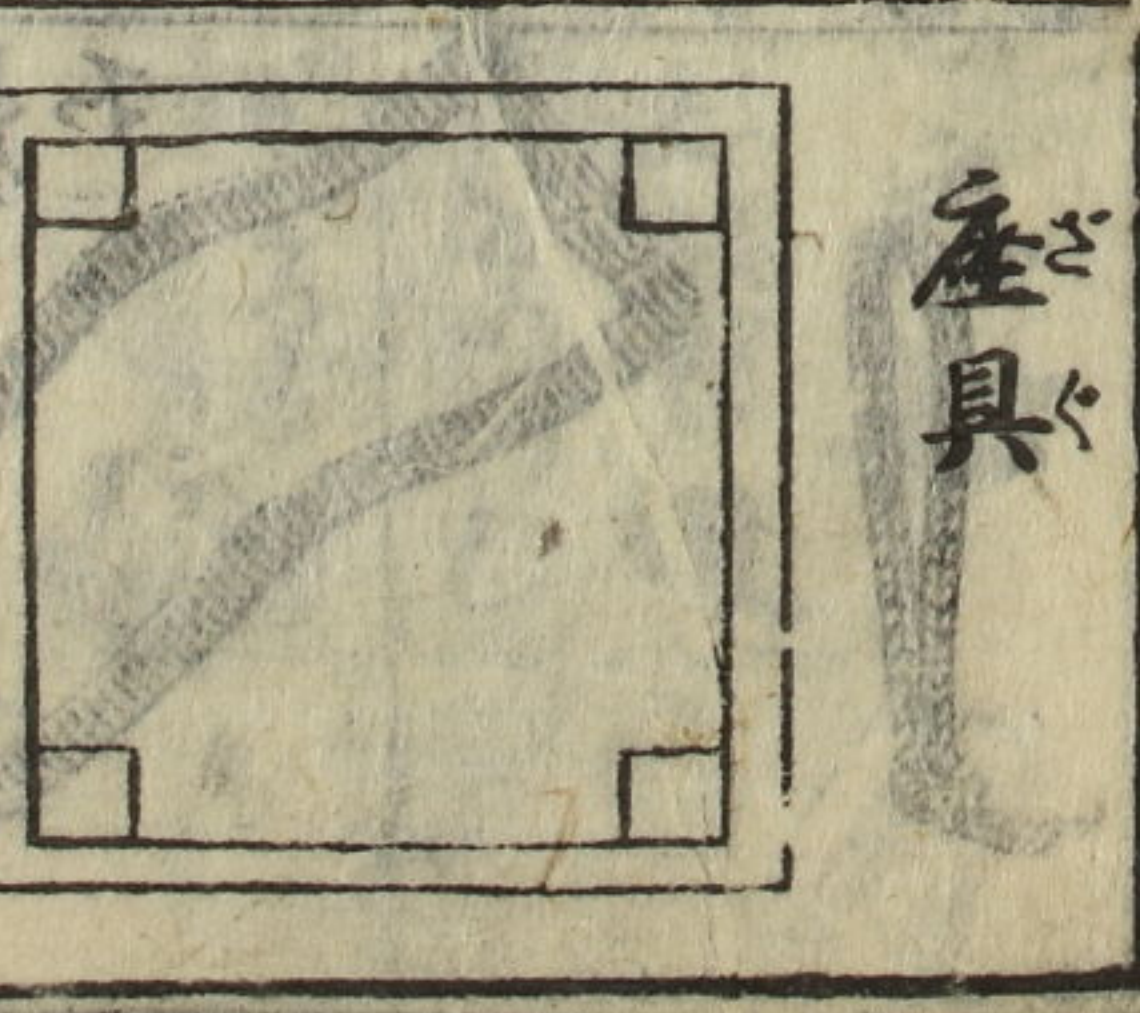
産具  
○産具のよきもの  
は産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ



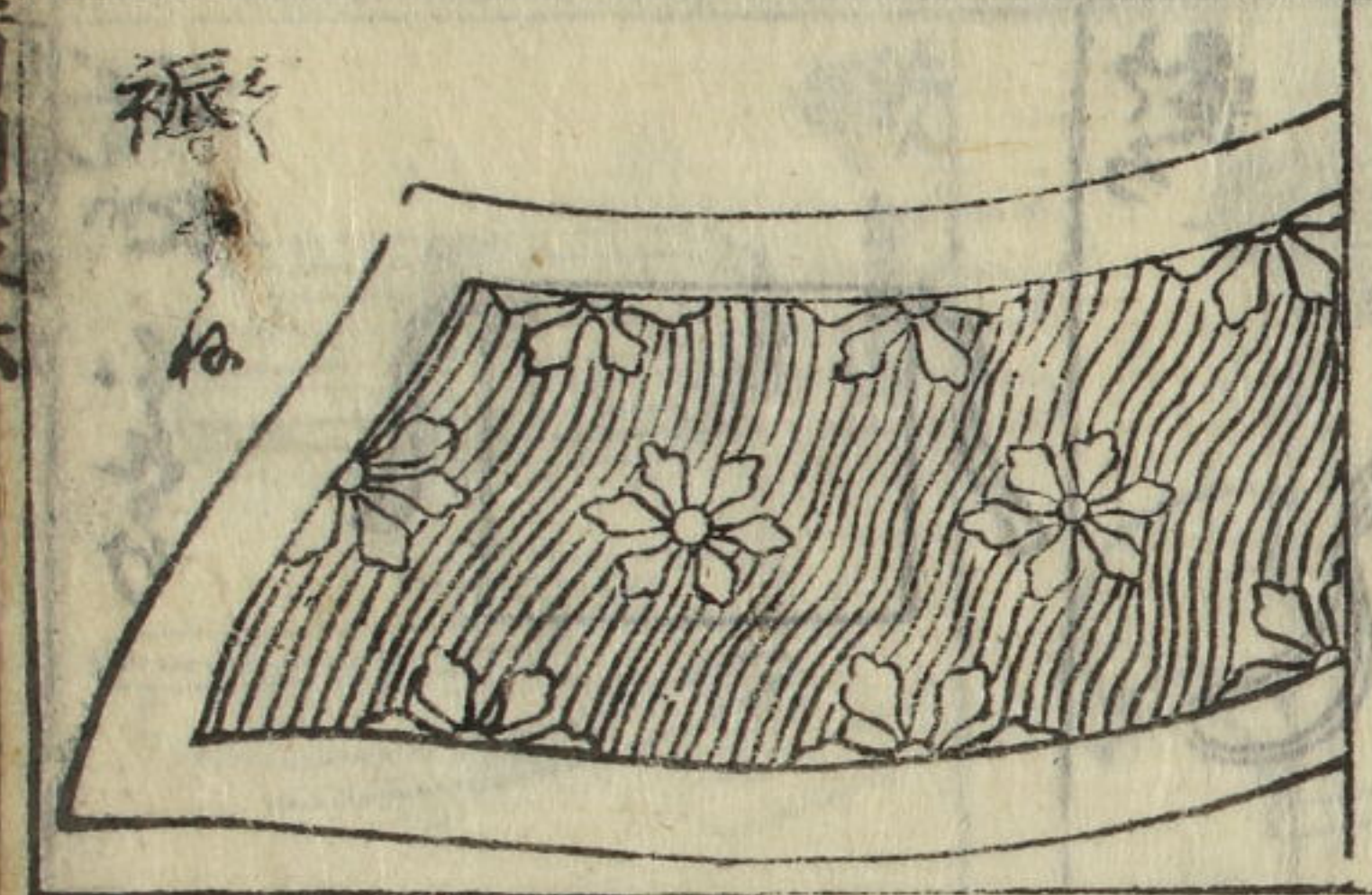
絡子  
○絡子又掛子  
とつくと又掛  
とつくと又掛  
とつくと又掛  
とつくと又掛  
とつくと又掛  
とつくと又掛  
とつくと又掛



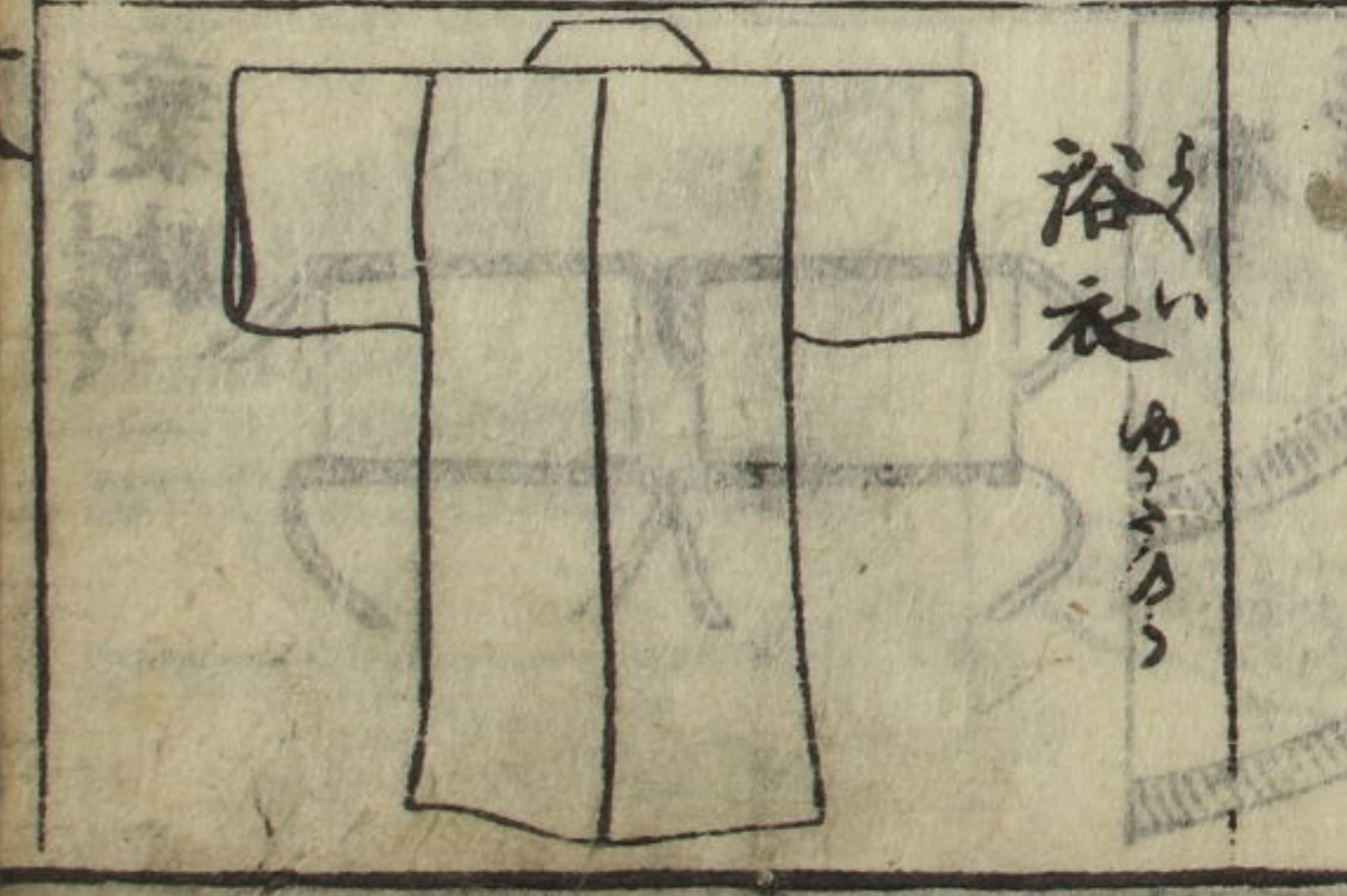
産具  
○産具のよきもの  
は産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ



襦袢  
○襦袢のよきもの  
は産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ



浴衣  
○浴衣のよきもの  
は産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ  
く産具のよ

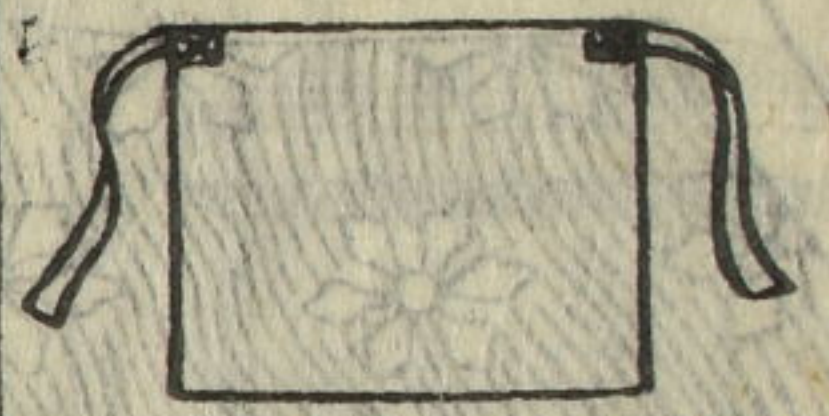


遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり

遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり

遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり  
遊衣あそびえのり

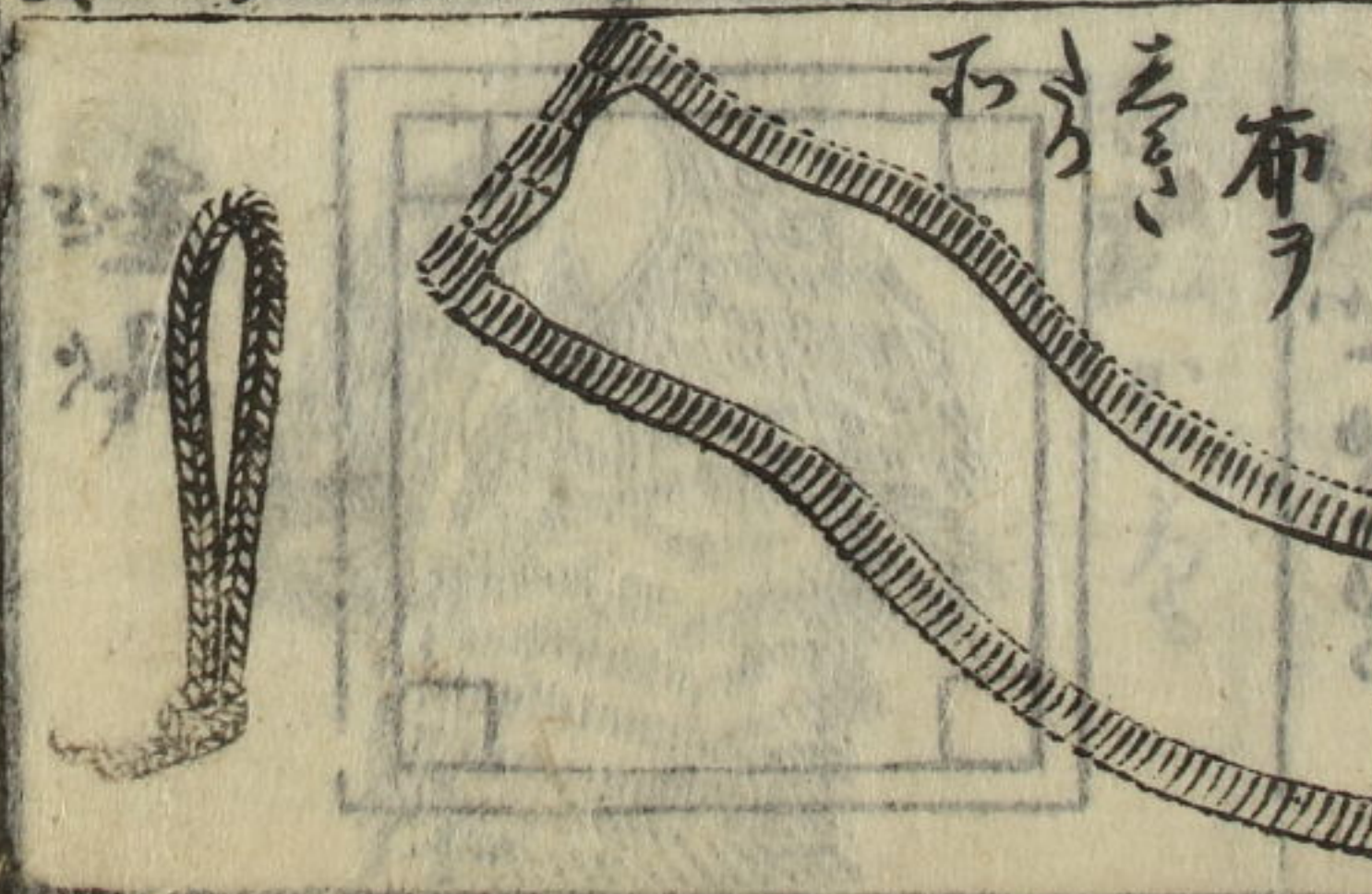
遊衣あそびえのり



裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり

裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり  
裏脚うらあしのり

裏脚うらあしのり



頭書増補割蒙圖彙卷之七

寶貨

此部ハ金銀珠玉鉄石等  
織綾羅絹等ハ此部ニ入ル

金きんのり

金きんのり  
金きんのり  
金きんのり  
金きんのり  
金きんのり  
金きんのり



金きんのり

銀ぎんのり  
銀ぎんのり  
銀ぎんのり  
銀ぎんのり  
銀ぎんのり  
銀ぎんのり



銀ぎんのり

銀ぎんのり  
銀ぎんのり  
銀ぎんのり  
銀ぎんのり  
銀ぎんのり  
銀ぎんのり



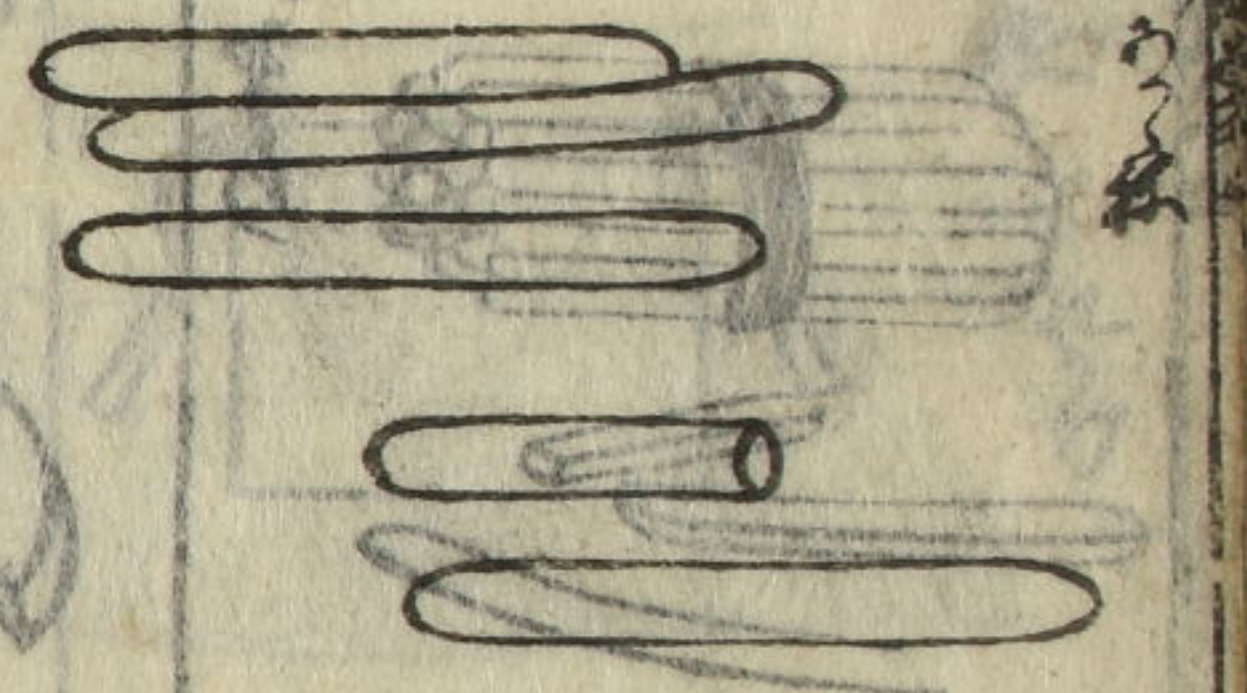
銀ぎんのり

鉄てつのり  
鉄てつのり  
鉄てつのり  
鉄てつのり  
鉄てつのり  
鉄てつのり



鉄てつのり

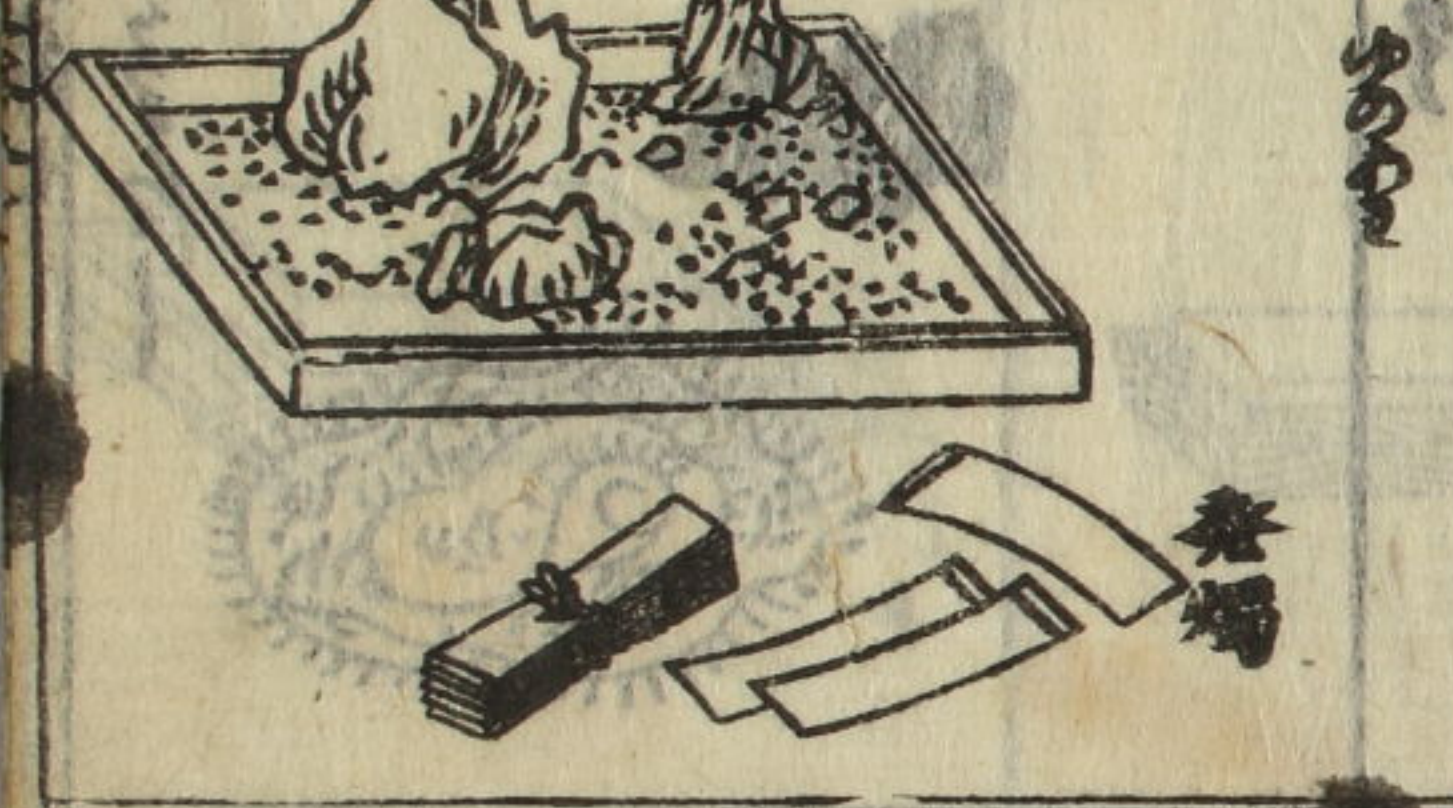
銅の類  
赤金あり  
銅石真鍮  
白銅あり  
紫銅あり  
銅の類



珠の類  
珊瑚あり  
真珠あり  
珍珠あり  
珠の類



礬の類  
硫黄あり  
硫黄あり  
硫黄あり  
硫黄あり  
硫黄あり  
硫黄あり



錢の類  
銅錢あり  
銀錢あり  
鐵錢あり  
錢の類



玉の類  
水晶あり  
瑪瑙あり  
翡翠あり  
玉の類



硝の類  
硝石あり  
硝石あり  
硝石あり  
硝石あり  
硝石あり  
硝石あり



硝の類  
硝石あり  
硝石あり  
硝石あり  
硝石あり  
硝石あり  
硝石あり



磁石の陽子  
 鐵と牽きあひ  
 陰より多し磁石  
 のり二物は意を  
 通ひあひて針  
 と引きあひて

瑪瑙

○瑪瑙の玉あり  
 七寶の四つこの  
 玉の如く馬の腦  
 にありて馬  
 齒とあひて炎  
 あり

磁石



瑪瑙



磁石

○磁石の煉り  
 大毒あり煉り  
 との磁石を消  
 鷹物のどくと消  
 料のりゆりて  
 磁石を少く  
 敷あり

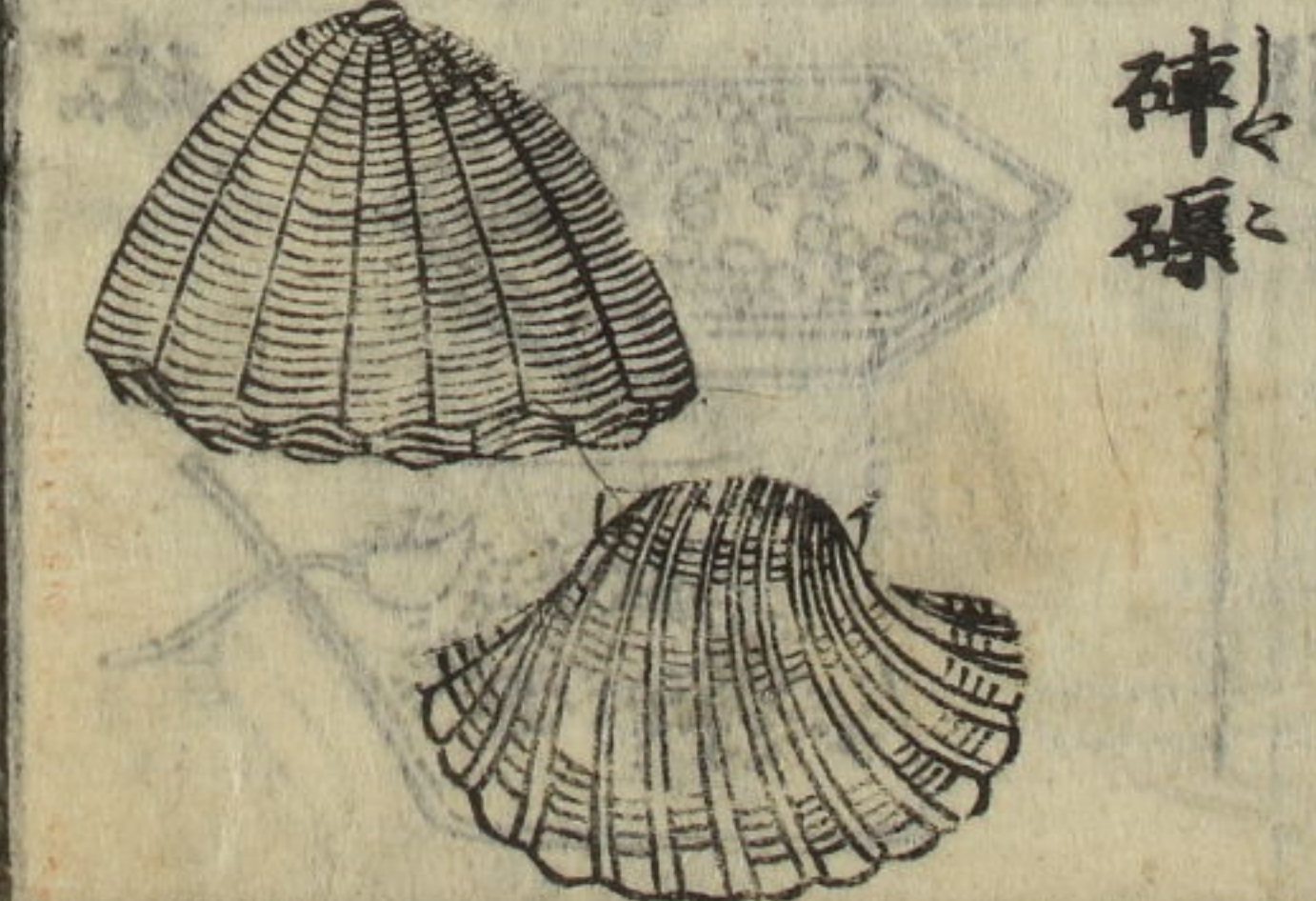
碑礫

○碑礫の玉の名  
 七寶の玉あり  
 石の玉はゆる  
 一名海扇和名  
 とく

磁石



碑礫



玳瑁

○玳瑁の巻の名  
 手は文あり  
 つまへし御簪  
 香合などにつる

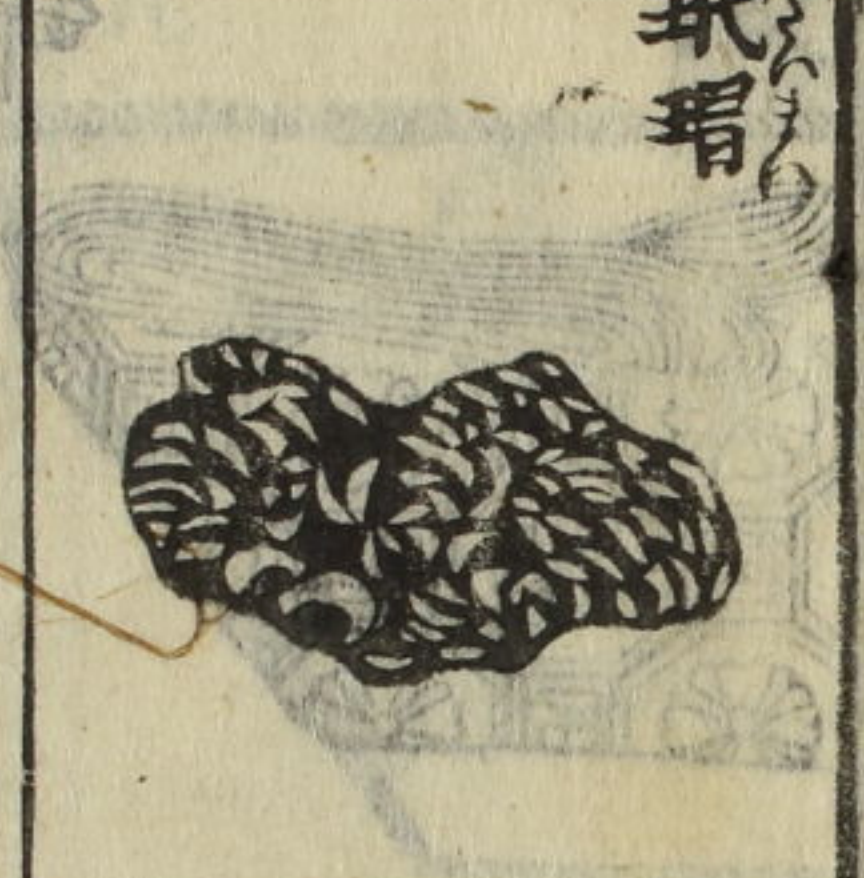
砥

○砥の細砥石  
 研をすべし  
 黄砥のりせと

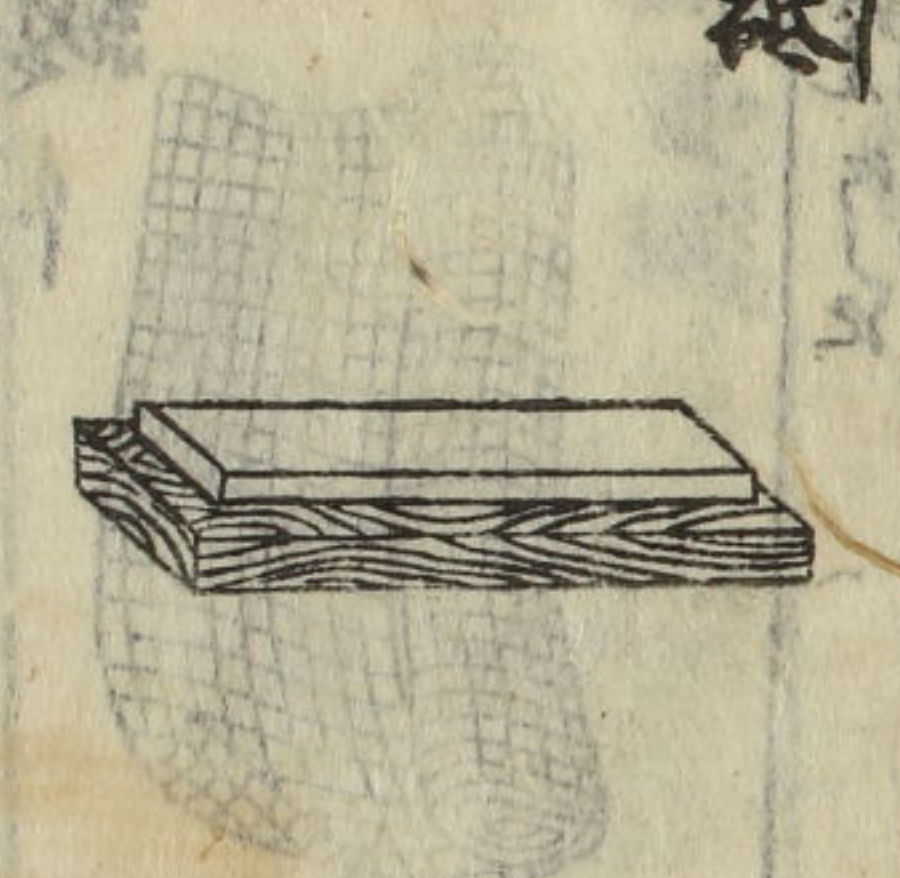
砥

○砥の粗砥石  
 研をすべし  
 黄砥のりせと

玳瑁



砥



砥



瑠璃

○瑠璃の玉の名  
 石のりらわを  
 のり七寶の  
 りあり知れり

琥珀

○琥珀の玉の名  
 西の玉あり  
 黎のりせと

珊瑚

○珊瑚の海中の  
 珠ありあり  
 鐵網とらるる  
 七寶のり

瑠璃



琥珀



珊瑚

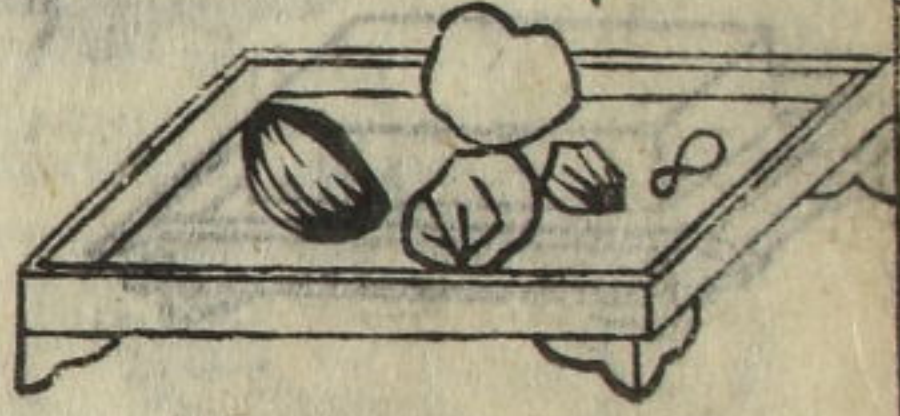


琥珀の松脂地  
から琥珀を  
琥珀の玉の  
久貴なり

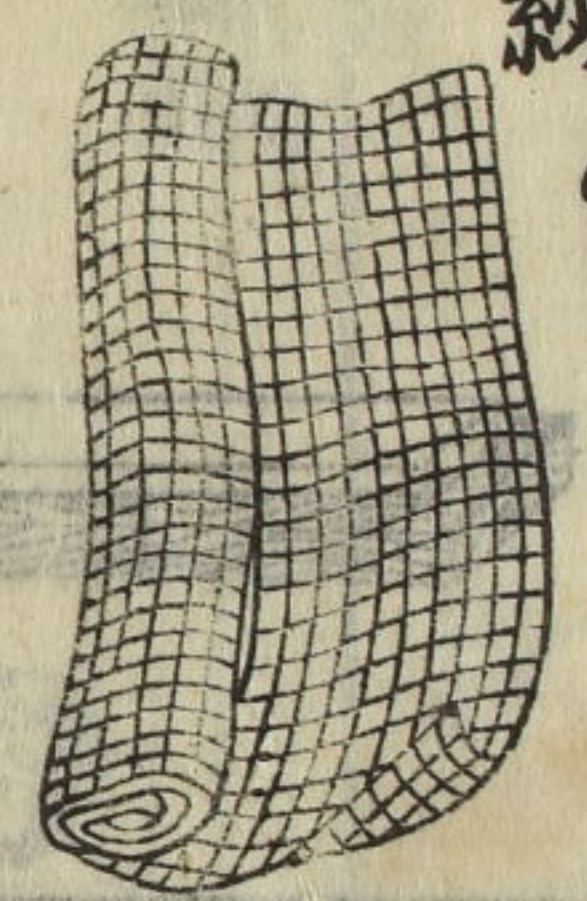
紗

○紗の金銀  
紋紗の  
螺滿を  
定か  
錦の五色の糸  
と織て錦  
後、金糸の  
ころの

琥珀  
法



紗



錦



○琥珀の玉の  
りあつこの  
境山に琥珀  
樹の

熨斗目

○熨斗目  
あつ織物の  
に侍の  
又能役者  
ころの

繡

○繡の五采の  
りあつこの

琥珀



熨斗目



繡



○繡の  
毛繡の  
り花繡  
毛繡の  
と山水

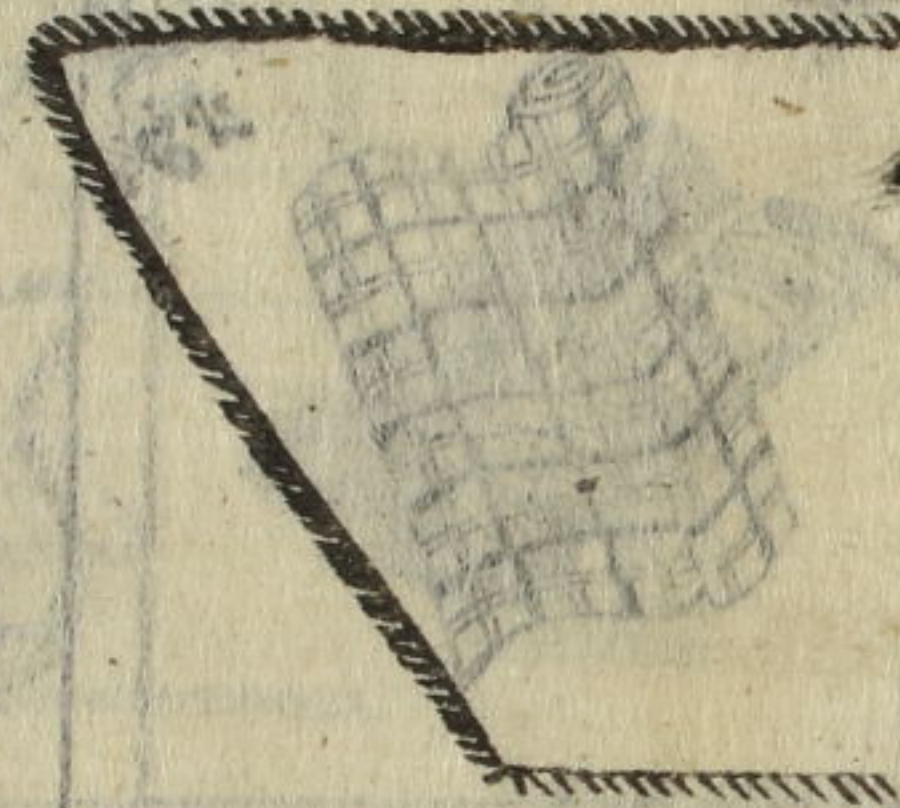
如賀絹

○如賀絹  
小松

繡

○繡の  
綾子の  
綾子の  
綾子の

繡



如賀絹



繡



○紅染  
紅糸  
中紅  
とんあ

穀

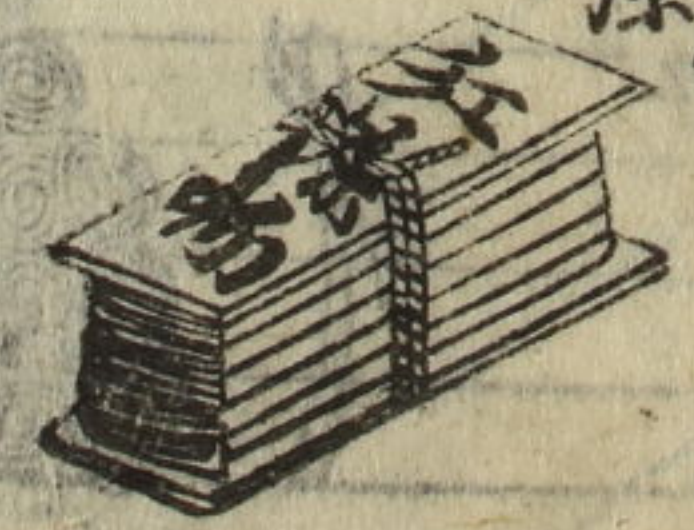
○穀の  
俗に縮

繡

○生縮  
熟箱

紅染

補



穀



繡

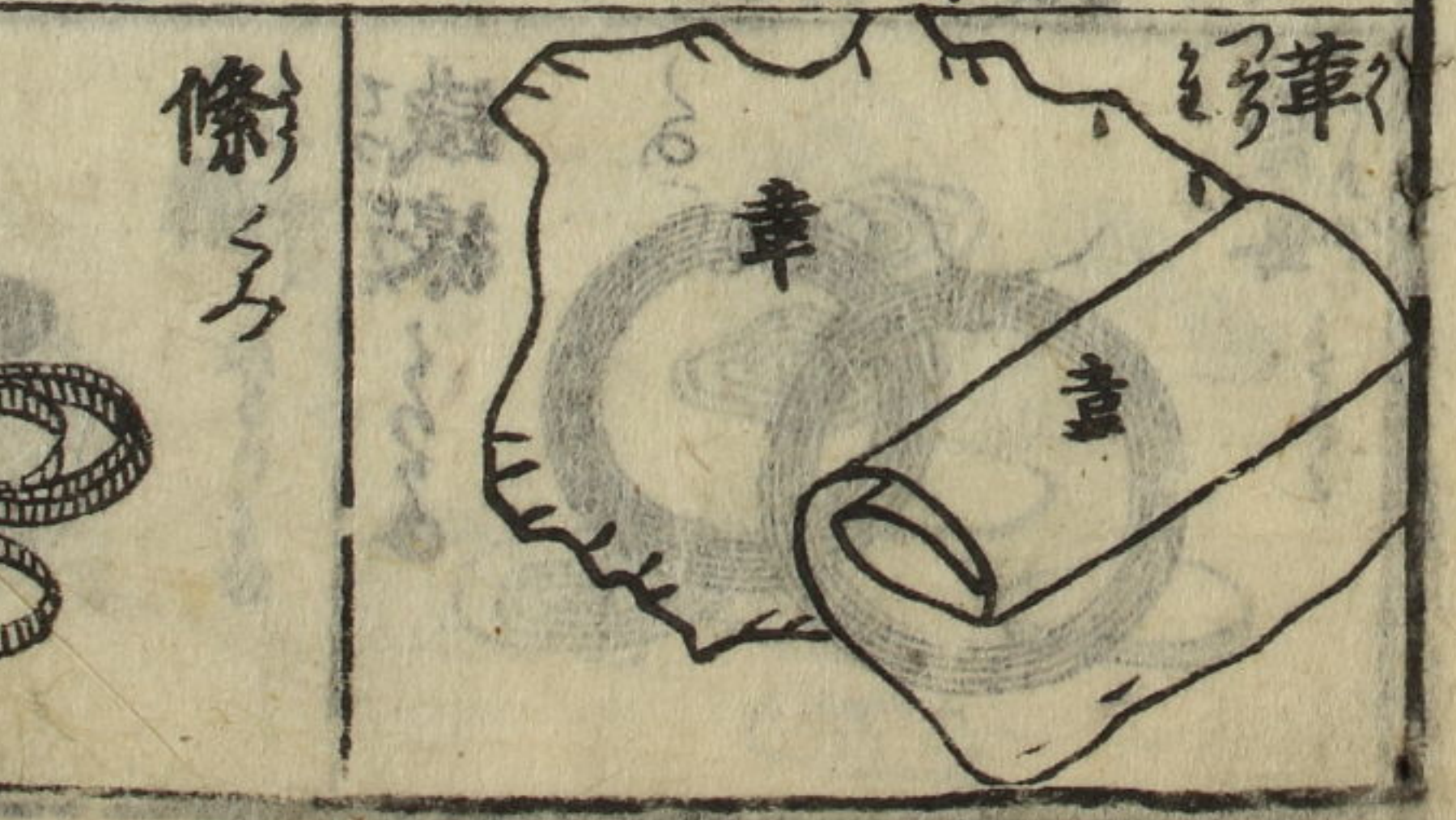


○縹子 五色を  
○皮 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物

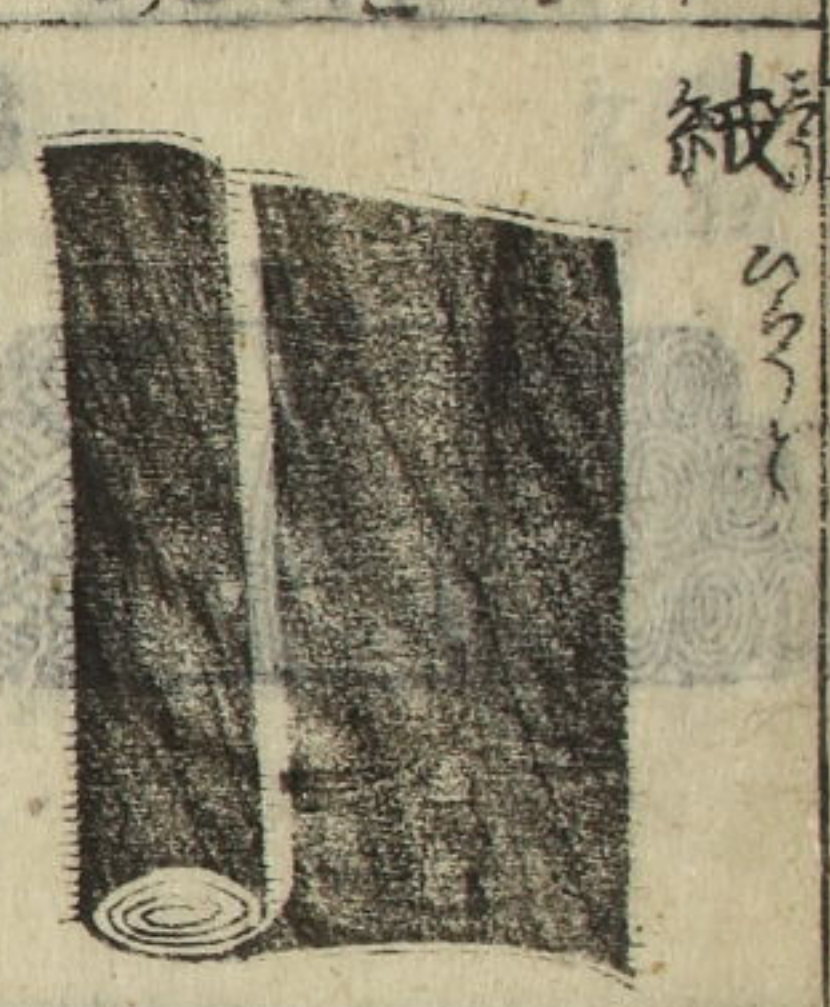
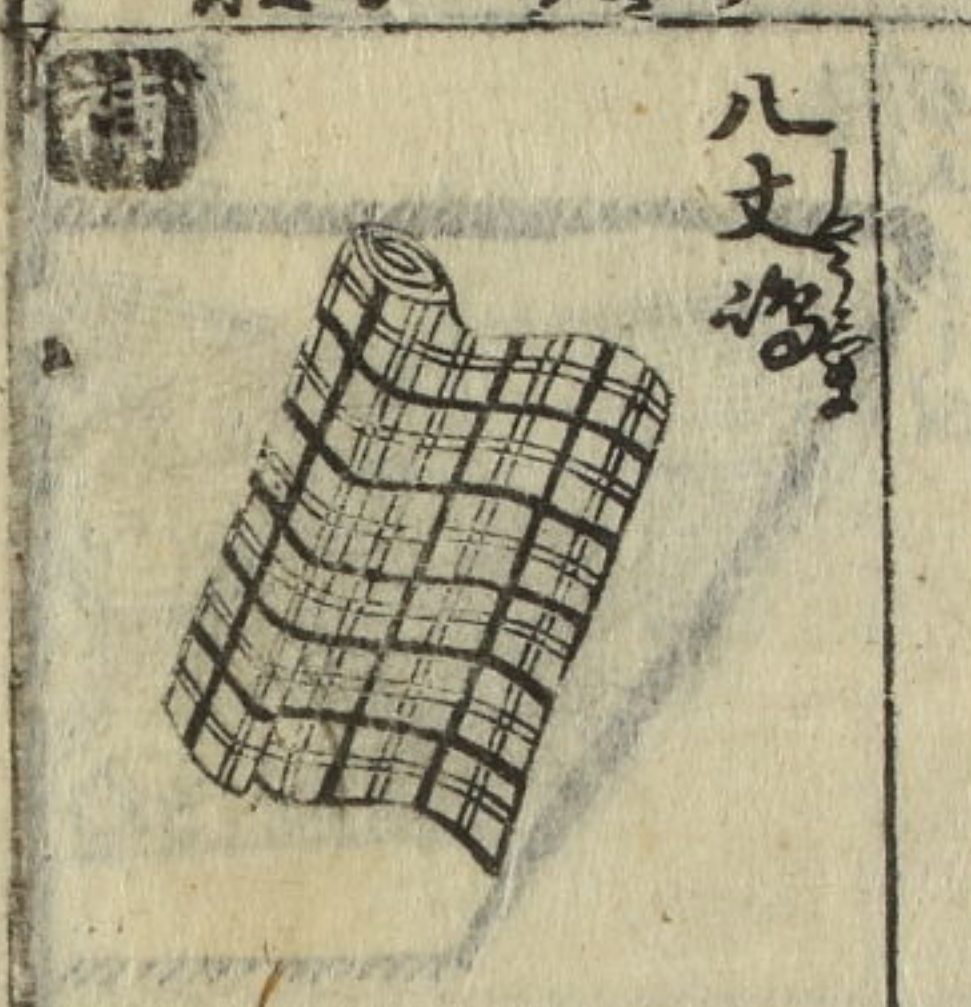


○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物

○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物



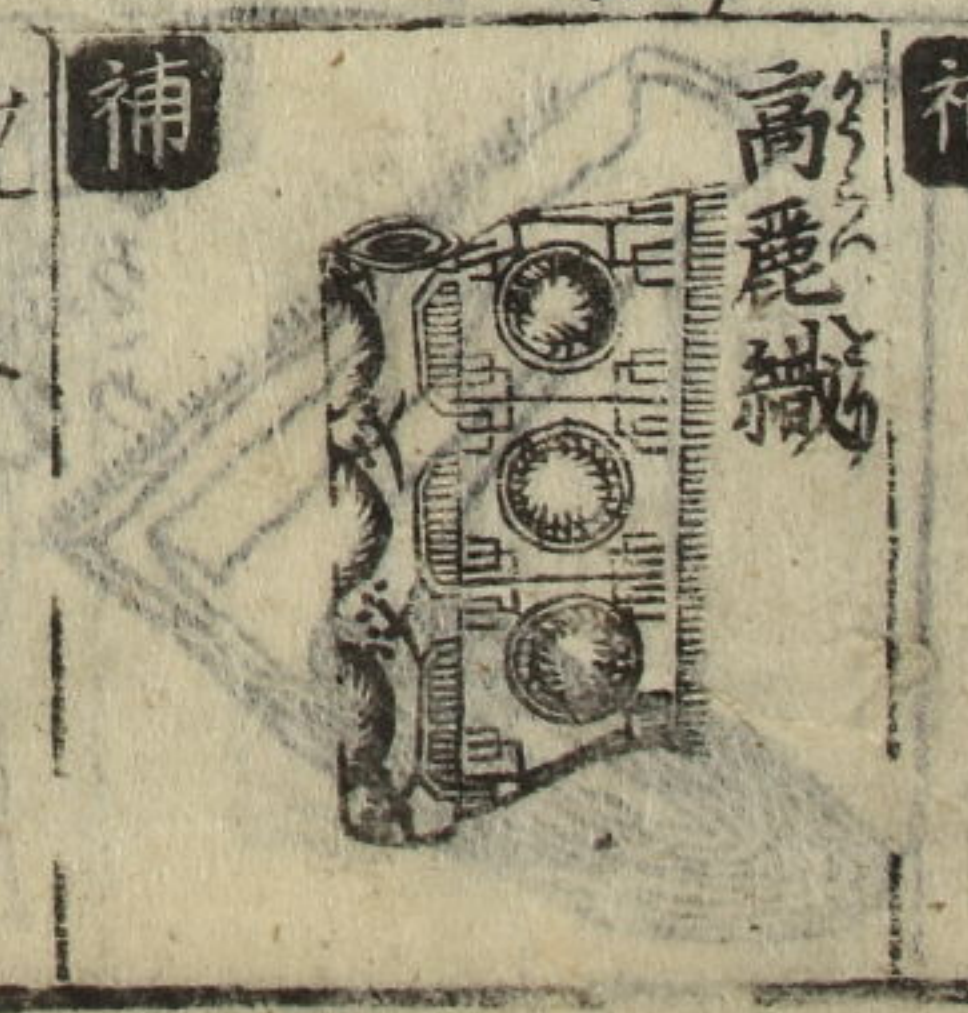
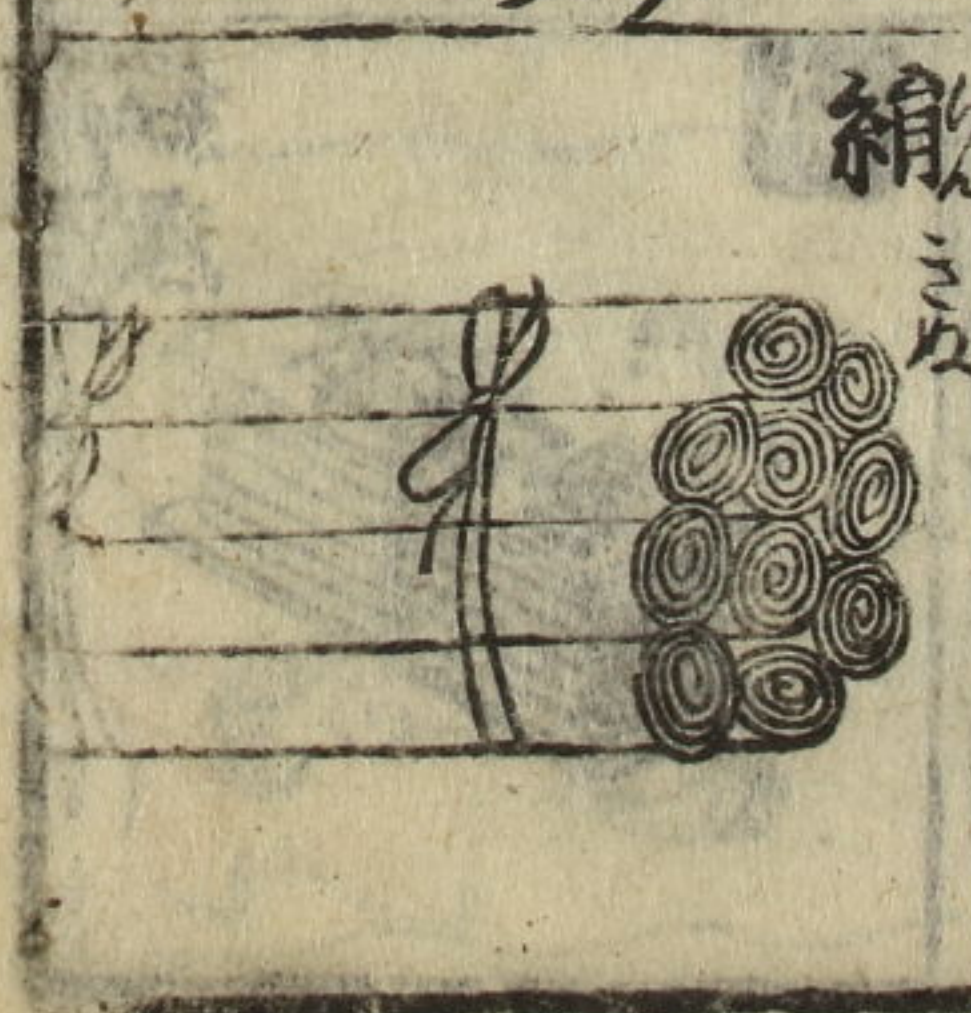
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物



○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物

○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物

○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物  
○縹子 毛の物





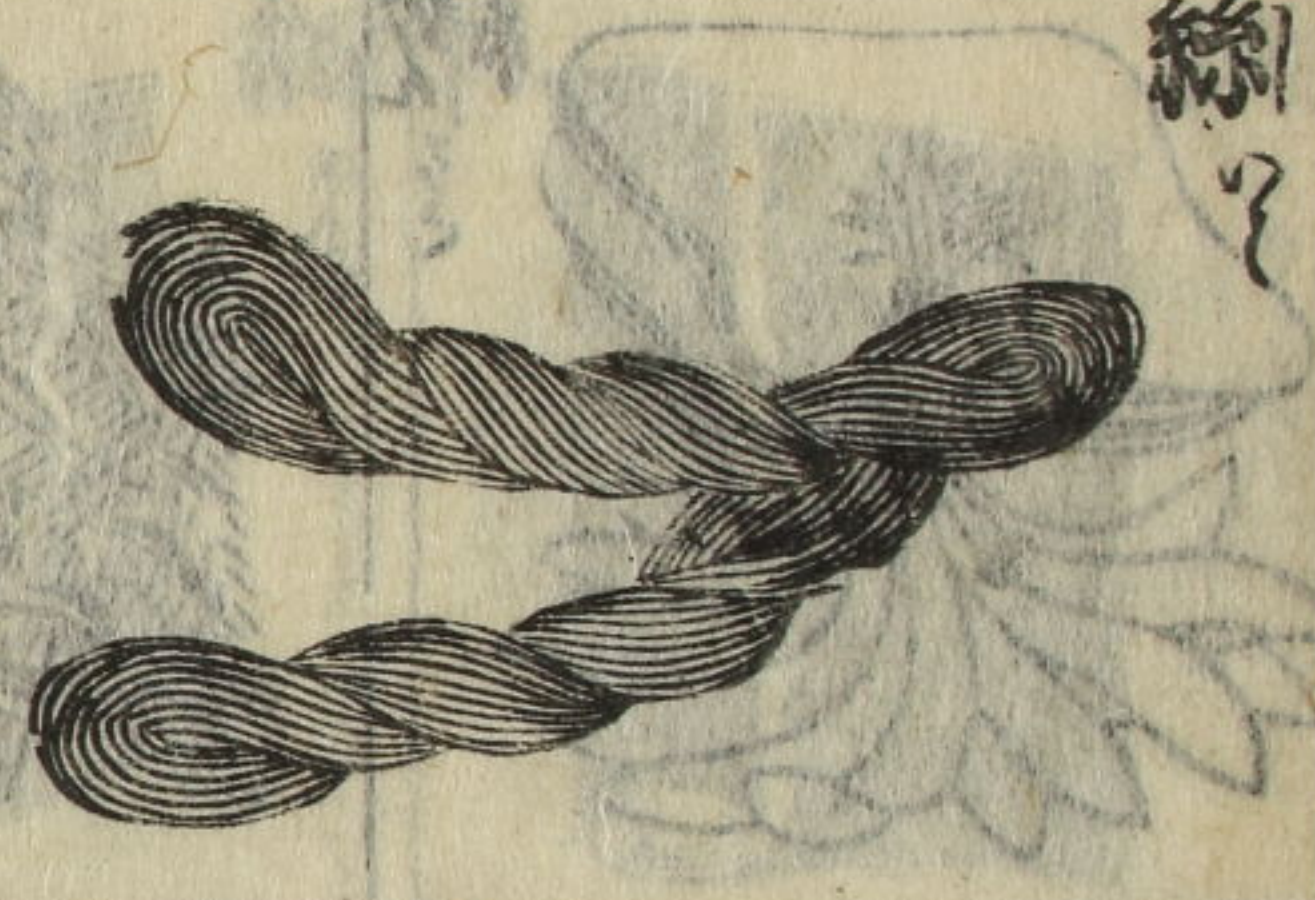
絲 蠶のくちを  
 績 いしつら 蠶い  
 績 いしつら 蠶い  
 績 いしつら 蠶い  
 績 いしつら 蠶い  
 績 いしつら 蠶い

金葉  
 金葉 金の  
 金葉 金の  
 金葉 金の  
 金葉 金の  
 金葉 金の

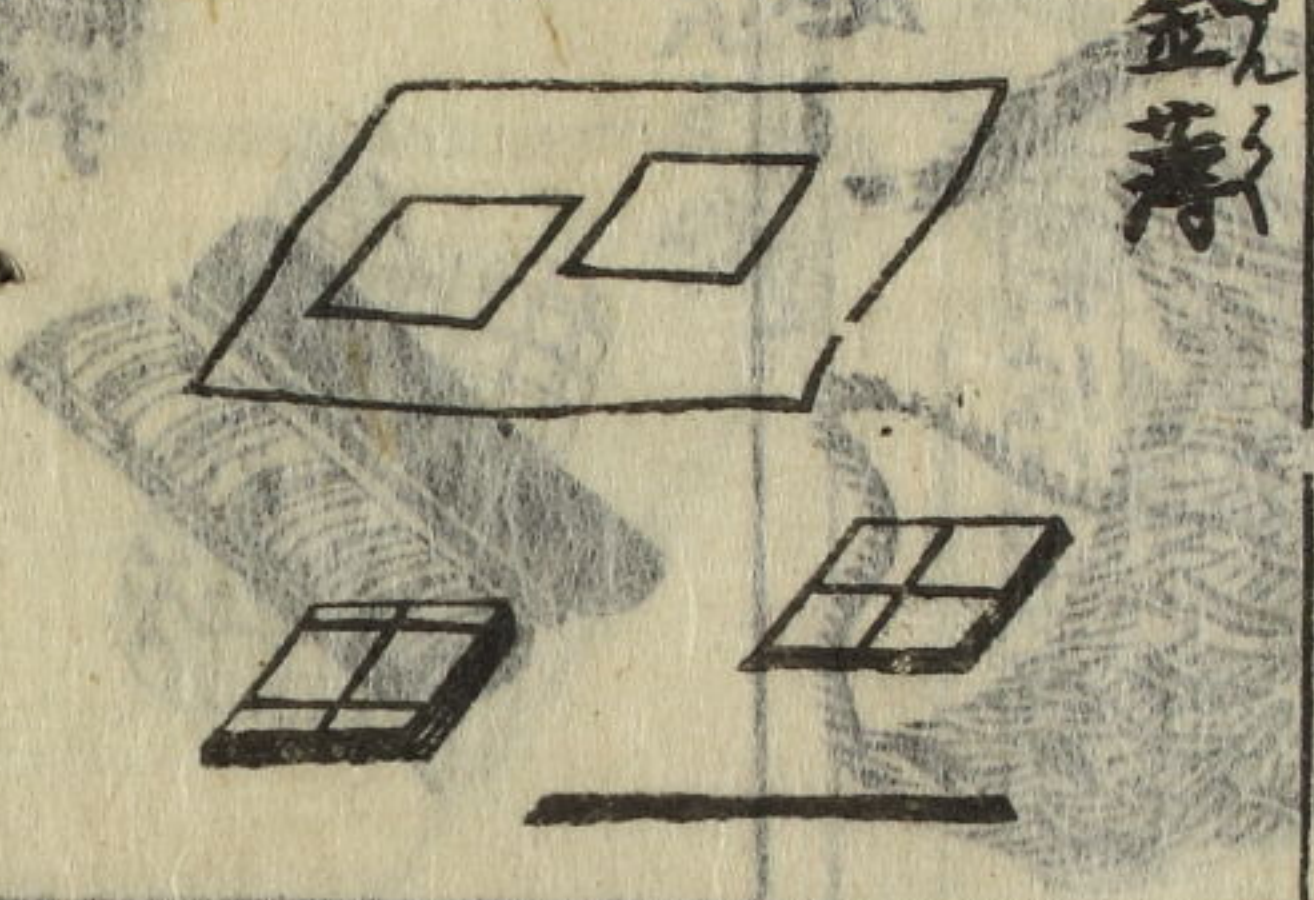
水銀  
 水銀 性寒  
 水銀 性寒  
 水銀 性寒  
 水銀 性寒  
 水銀 性寒

水精  
 水精 水  
 水精 水  
 水精 水  
 水精 水  
 水精 水

絲



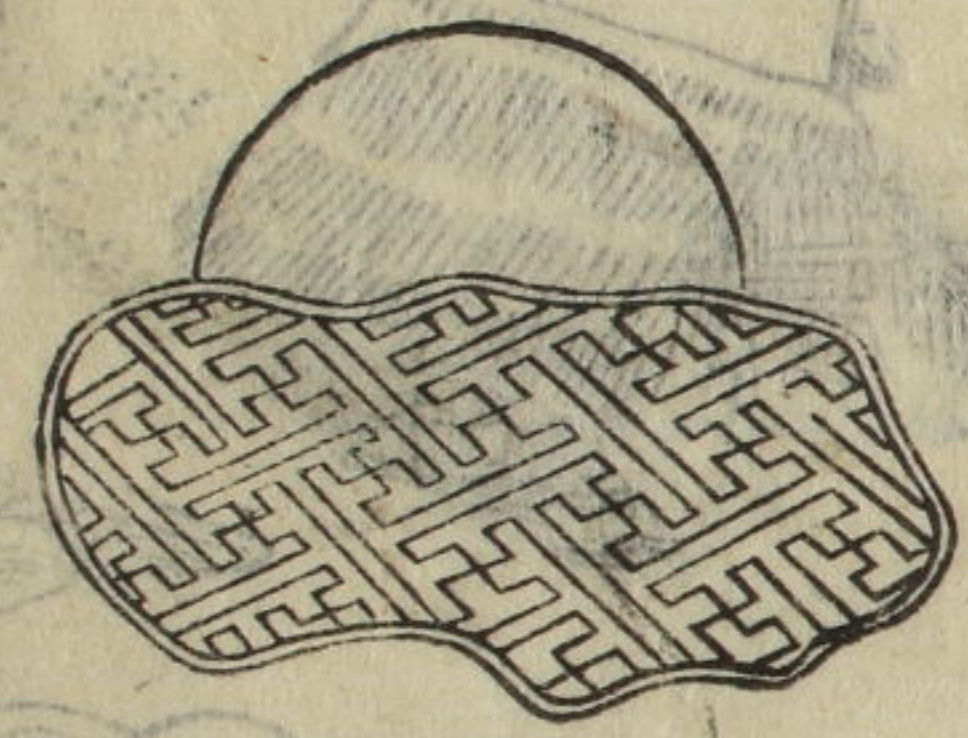
金葉



水銀



水精



線

線 絹の  
 線 絹の  
 線 絹の  
 線 絹の  
 線 絹の

鐵線

鐵線 鐵の  
 鐵線 鐵の  
 鐵線 鐵の  
 鐵線 鐵の  
 鐵線 鐵の

雲母

雲母 雲母の  
 雲母 雲母の  
 雲母 雲母の  
 雲母 雲母の  
 雲母 雲母の

火精

火精 火の  
 火精 火の  
 火精 火の  
 火精 火の  
 火精 火の

線



鐵線



雲母



火精



海鹽

海監ハ食監  
海中の潮と  
で蓋をひく  
蓋を骨子入  
蓋をひく  
蓋をひく  
蓋をひく



緑青

緑青ハ石緑  
銅のこぼり  
銅緑と水  
を煮て蓋  
をひく  
の具



石膽

石膽ハ銅  
の汁  
を煮て  
石中の汁  
を煮て  
石中の汁  
を煮て



浮石

浮石ハ水花  
を煮て  
水花を  
煮て  
水花を  
煮て



石灰

石灰ハ火  
を煮て  
火を煮  
て  
火を煮  
て

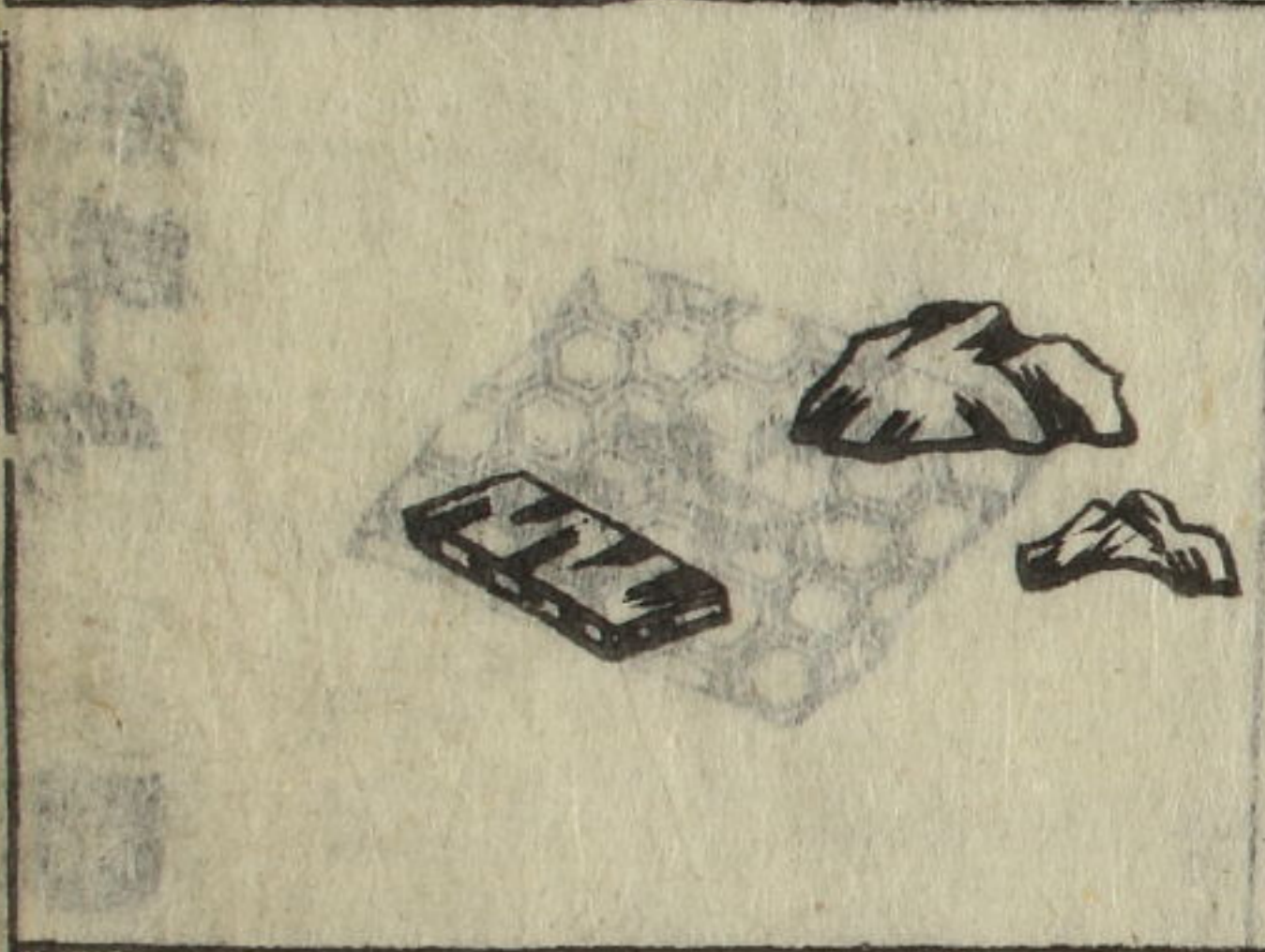


神

神

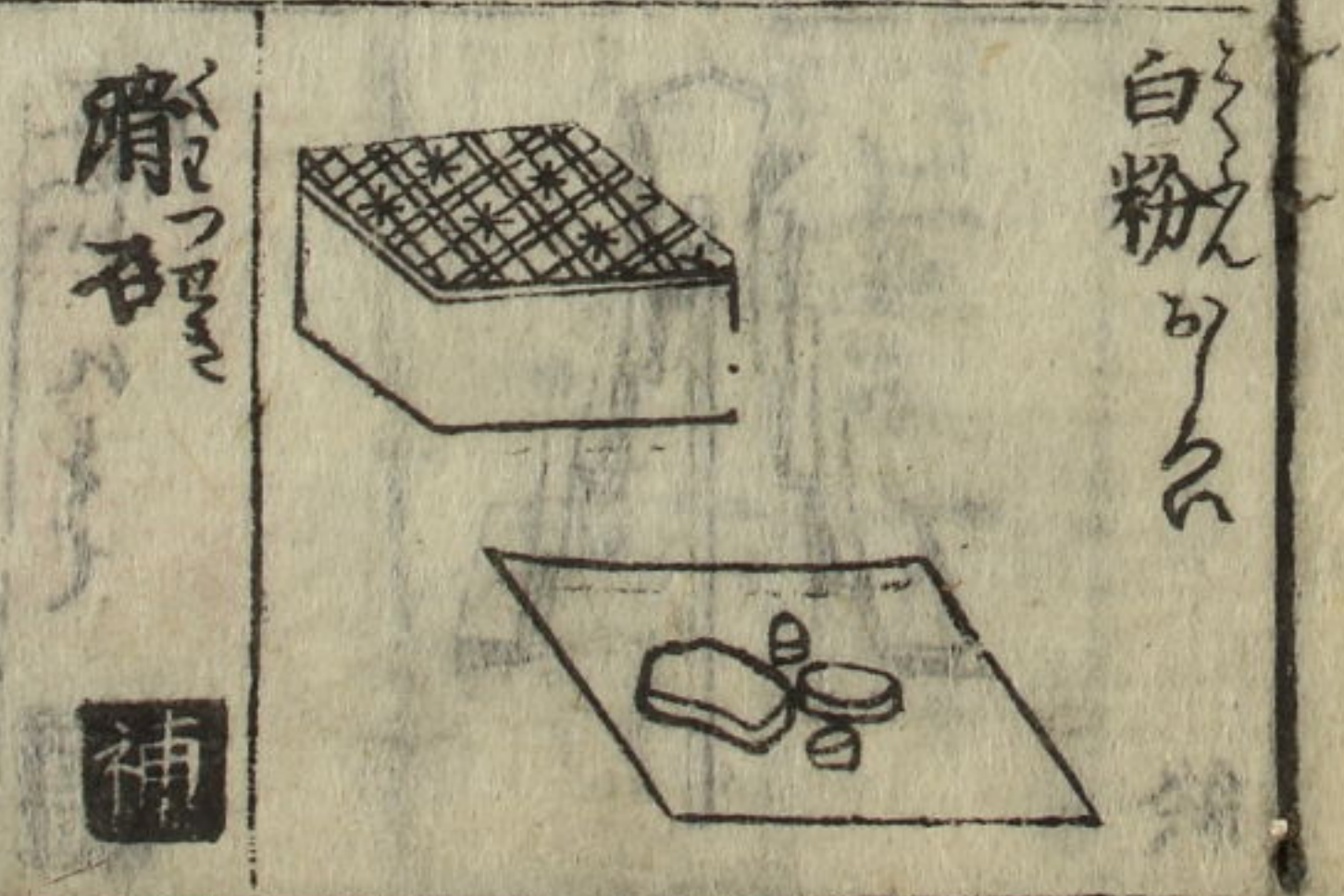
温石

温石ハ一名  
温石ハ一名  
温石ハ一名  
温石ハ一名



白粉

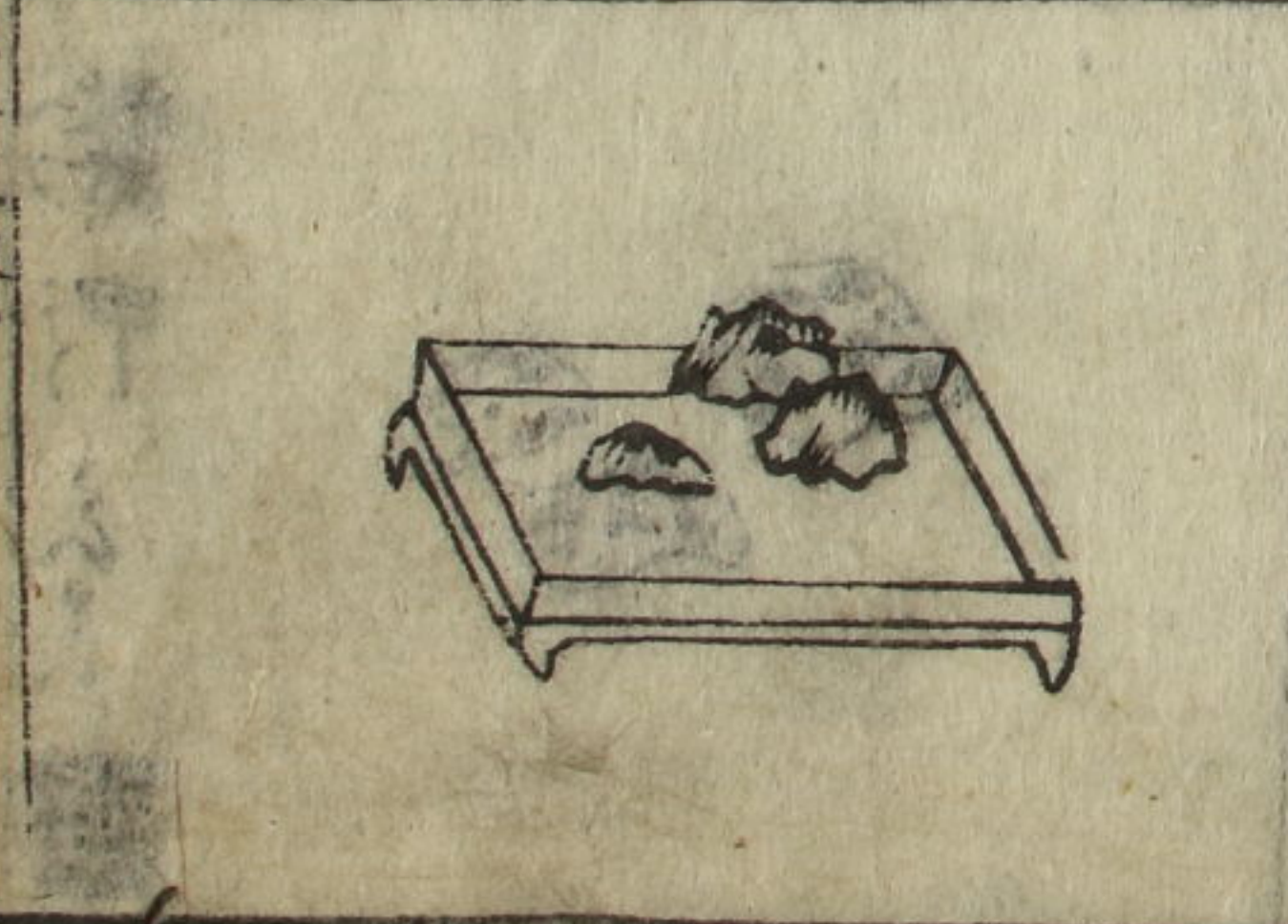
白粉ハ鉛  
を煮て  
鉛を煮  
て  
鉛を煮  
て



神

滑石

滑石ハ水  
を煮て  
水を煮  
て  
水を煮  
て

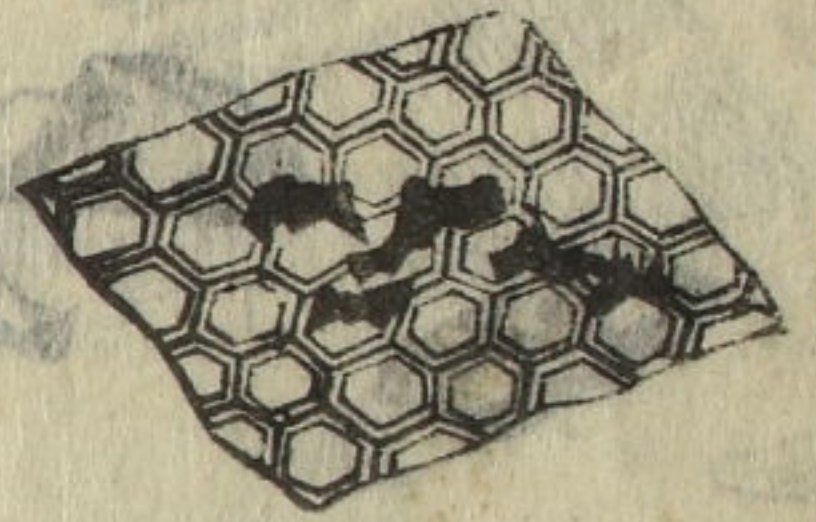


神

麒麟血

麒麟の血あり  
くつくと麒麟  
とのつとこのは  
はくまをはく  
も馬血あり血  
くつとつと

麒麟血



補

木綿襪

木綿襪の幣  
とくんと死く  
ふとふたあり  
木綿のくまの  
かありひひひ  
柄のひひひひ  
くひひひひひ  
木綿とふ



補

驚甲

驚の海神の大  
クあり甲と  
てうきくまの  
斑文つふこれを  
櫛笄香盒木  
つうつ物まつ  
ふ玳瑁つふ  
同一又ま子用

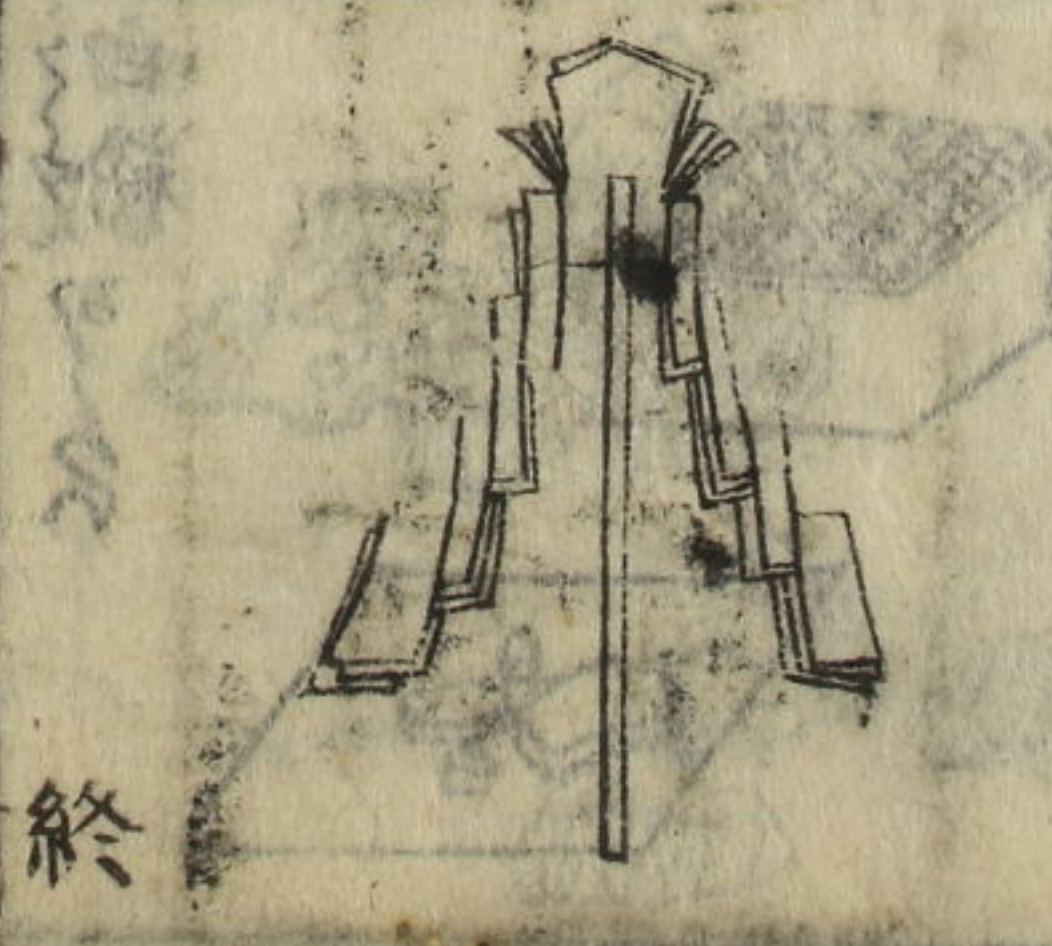
驚甲



補

幣

驚くとふ葉  
てまると白和幣  
とふふふふふ  
ふとふ和幣と  
事とふとふ  
ふとふ後の具  
ありふふふ  
ふふふふ



補

終

千本薬師  
池田氏法印

圖書印

